

(3) 令和5年度・令和6年度の減災に係る取組について

- 平成29年度に当初策定した『減災に係る取組方針(第1期)』の対象期間(5年)が令和3年度に経過
- 令和4年度にこれまでの取組状況等を踏まえて、第2期目となる『減災に係る取組方針』(対象期間:R4~R8)を策定した。毎年、取組状況をフォローアップしていく。

平成27年9月 関東・東北豪雨災害(鬼怒川の洪水氾濫)

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある

平成27年12月 「水防災意識社会再構築ビジョン」

ポイント ①より実効性のある「住民目線のソフト対策」 ②「洪水氾濫を未然に防ぐハード対策」に加え、「危機管理型ハード対策」 ③地域一体の取組

平成28年8月以降 相次いで発生した台風による豪雨災害(岩手県小本川などの洪水氾濫)
中小河川においても甚大な被害が発生

平成28年11月 「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を都道府県管理河川に拡大

平成29年5月18日 第1回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災対策協議会』設立

平成30年2月7日 第2回 減災対策協議会『千代川圏域県管理河川の減災に係る取組方針(第1期)』策定

5年間で達成すべき目標 河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となったとっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組 ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

令和元年5月29日 第5回 減災対策協議会 取組方針一部改正 平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難の有り方研究会の提言等を追加

令和2年5月27日 第6回 減災対策協議会 取組方針一部改正 令和元年「水防対策検討会」及び「防災避難対策検討会」に係る提言等を追加

令和4年5月26日 第10回 減災対策協議会 第2期取組方針策定

※毎年協議会で取組状況をフォローアップ

減災のための目標

第2期(R4～R8)

5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特徴を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となった、とっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組

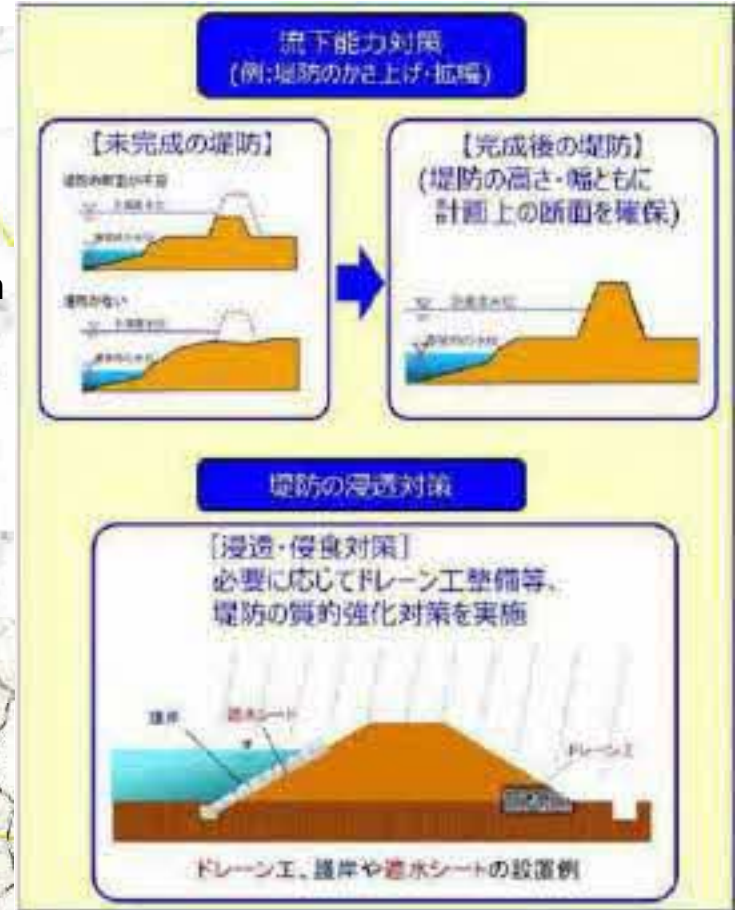
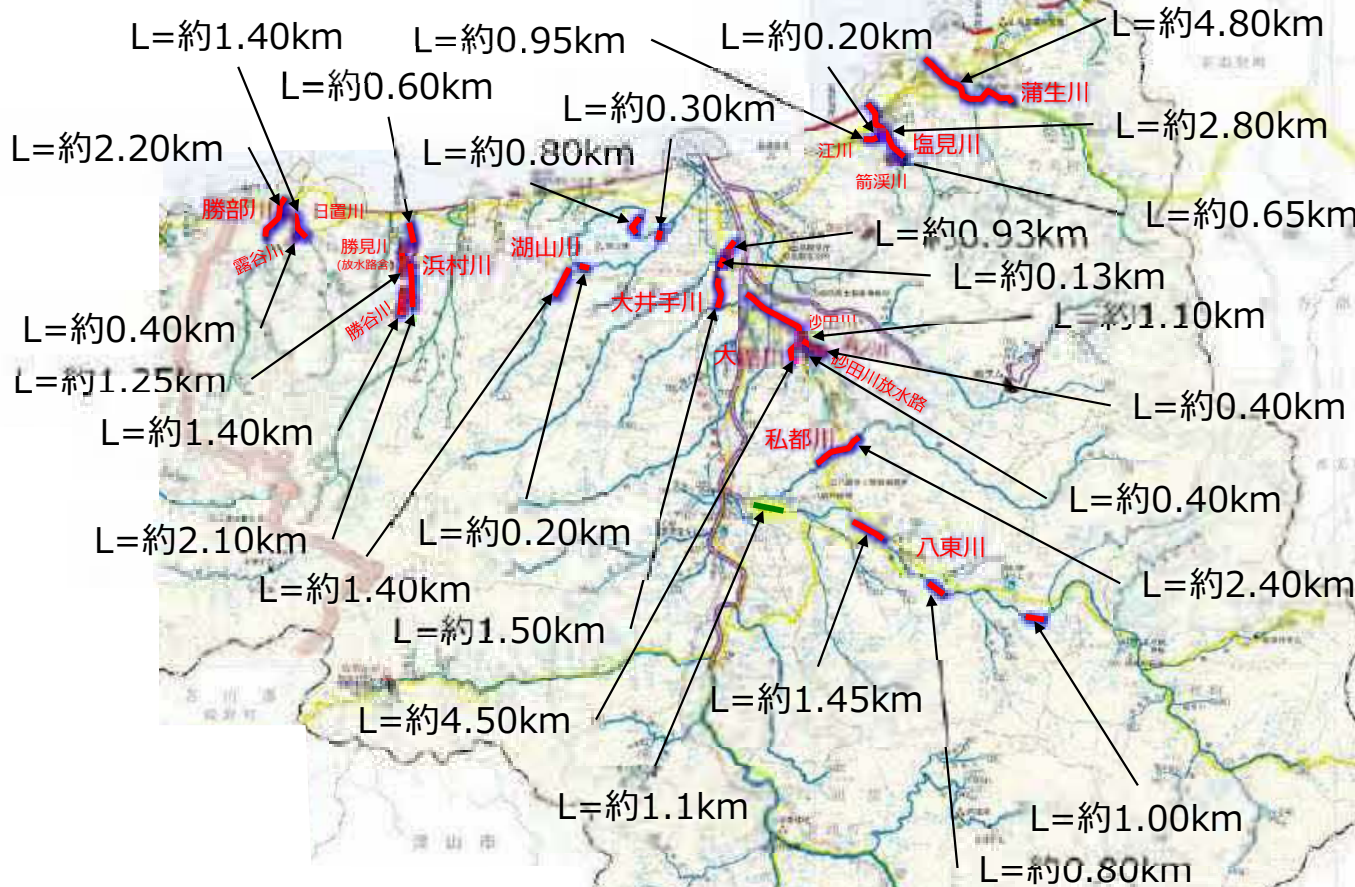
- ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
- ②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
- ③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

※引き続き、平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年台風19号、令和5年台風7号を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進する

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

千代川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変更となる場合があります。

【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所
— : 流下能力対策
— : 浸透対策
— : 洪水処理対策

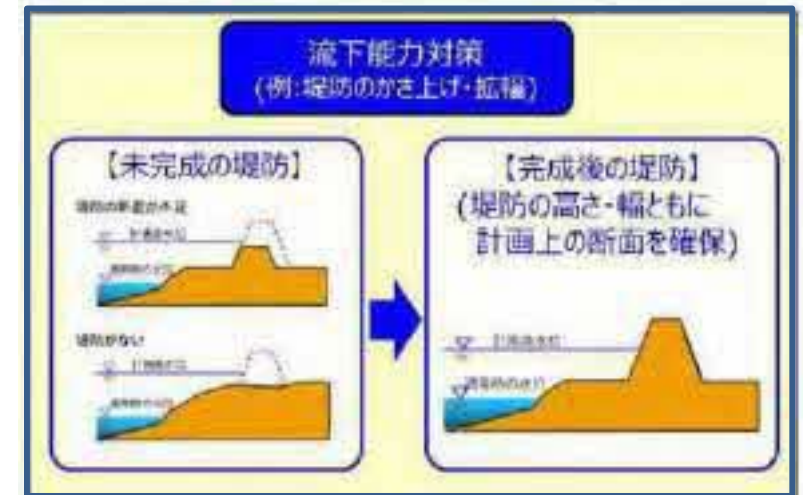
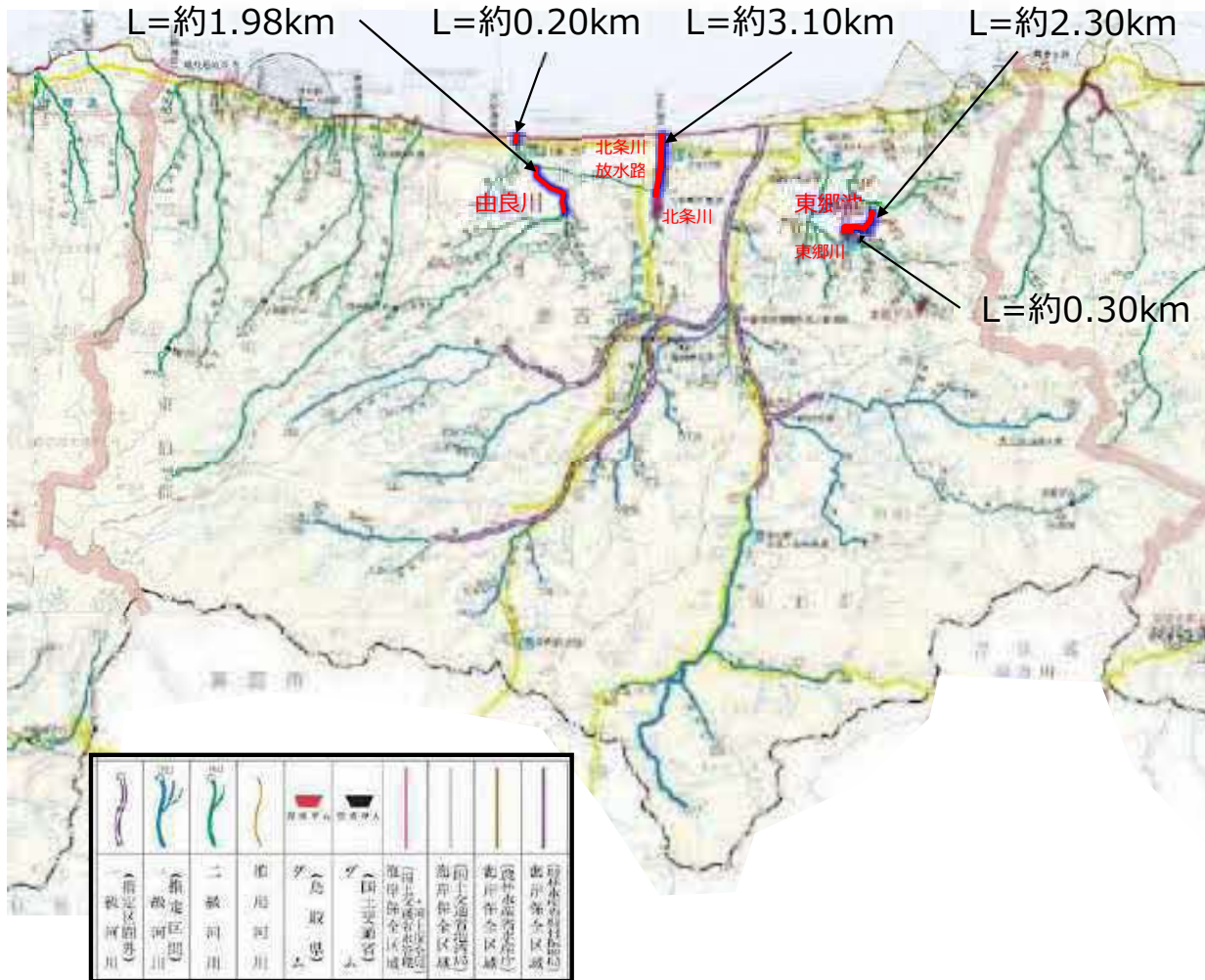
(指定区間等)	(指定区間等)	二級河川	準用河川	ダム	取水	(国土交通省)	(国土交通省)	(国土交通省)	(国土交通省)
千代川	千代川	千代川	千代川	千代川	千代川	千代川	千代川	千代川	千代川

- 塩見川(鳥取市福部町細川付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。
- 八東川(八頭町石田百井付近)における堤防の浸透対策を検討中。

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

天神川圏域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や洪水被害の発生状況等によって変更となる場合があります。

【凡例】河川整備計画等に基づき取組を進める箇所

- : 流下能力対策
- : 浸透対策
- : 洪水処理対策

- 東郷池の南岸における流下能力対策工事を重点的に実施中。
- 由良川(北栄町瀬戸)における流下能力対策を検討中。

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な**樹木伐採・河道掘削**を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、**計画的に実施**してきたところであり、**台風第7号**において、**人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果**。

【令和5年度(補正)実施予定】 勝部川（鳥取市青谷～吉川）、三徳川（三朝町横手～俵原）等 38箇所

【令和6年度実施予定】 野本川（米子市河岡～押口）、河内川（鳥取市鹿野町鹿野）等 65箇所

<実施要件：5か年加速化対策> (R3年度※R2国補正前倒し～R7年度)

- ①流域治水（事前防災）の位置づけで実施され一定の効果を見込める箇所
- ②次のいずれかに該当する河川
 - ・毎年度実施する維持的な伐開・掘削以外の箇所
 - ・近年浸水実績があった場所
 - ・河川背後や浸水想定区域内に家屋、重要施設がある箇所
 - ・鳥取方式洪水浸水リスク図の浸水範囲 等

<実施要件：緊急浚渫事業債> (R2年度～R6年度)

- ①県管理河川は全ての箇所が対象※個別計画の提出が必要

令和5年度 実施事例



河道掘削実施



河道掘削実施

効果事例



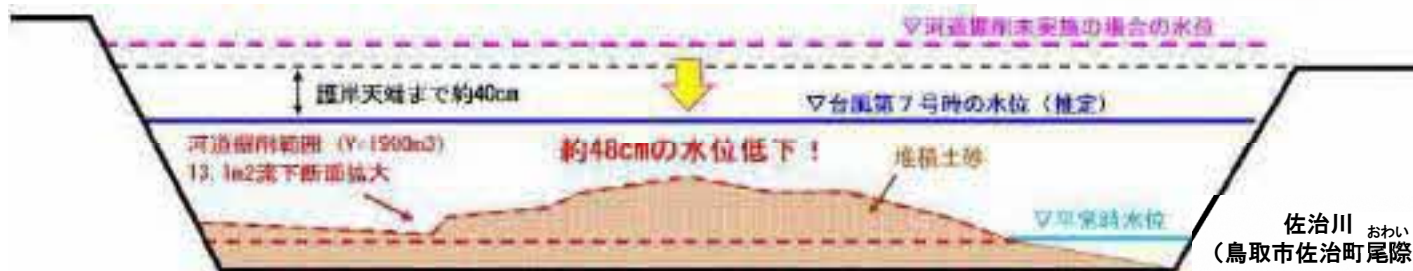
河道掘削実施



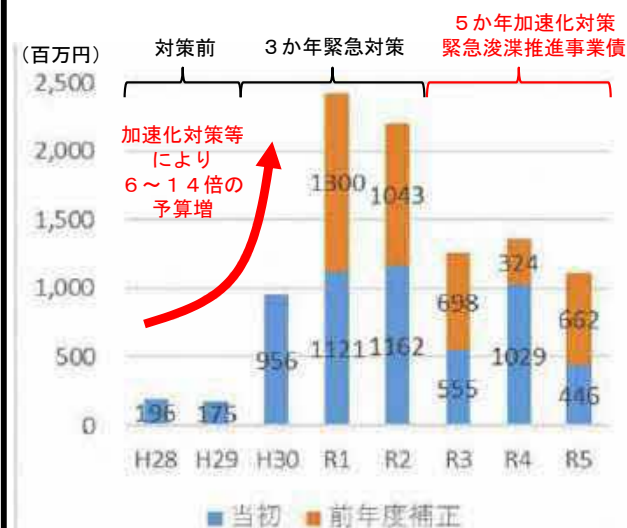
増水



溢水を防ぐことができた



予算推移



支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

①支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【目的】マップづくりの推進役として自治会等を支援するスタッフを育成する。

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員、防災士

【R5実績】 7/6 倉吉福祉センター 47人参加 (内容)マップづくり体験、個人情報保護法の基礎

7/25 倉吉未来中心 41人参加(内容)災害情報の取得、まちあるきのポイント

②支え愛マップづくりの取組状況

【目標】40地区／年

【R5実績(R6年1月31日時点)】新たに34地区が作成

【取組み時に活用いただきたい動画】～コロナ禍における支え愛マップづくり～
(県社協作成) https://youtu.be/4ByGD_J2V_o (YouTubeにて公開)



支え愛マップづくり
～顔の見える関係をめざして～

取組状況



支え愛マップ作成状況



支え愛マップ完成

救急救命が必要な場合を見越しての訓練状況



⇒水害・土砂災害に備え、防災・土木部局が連携して、自治会等に安全な避難場所・経路等について助言するとともに、マップを活用した訓練の実施をサポートしながら、地域防災力の強化を図っていく。

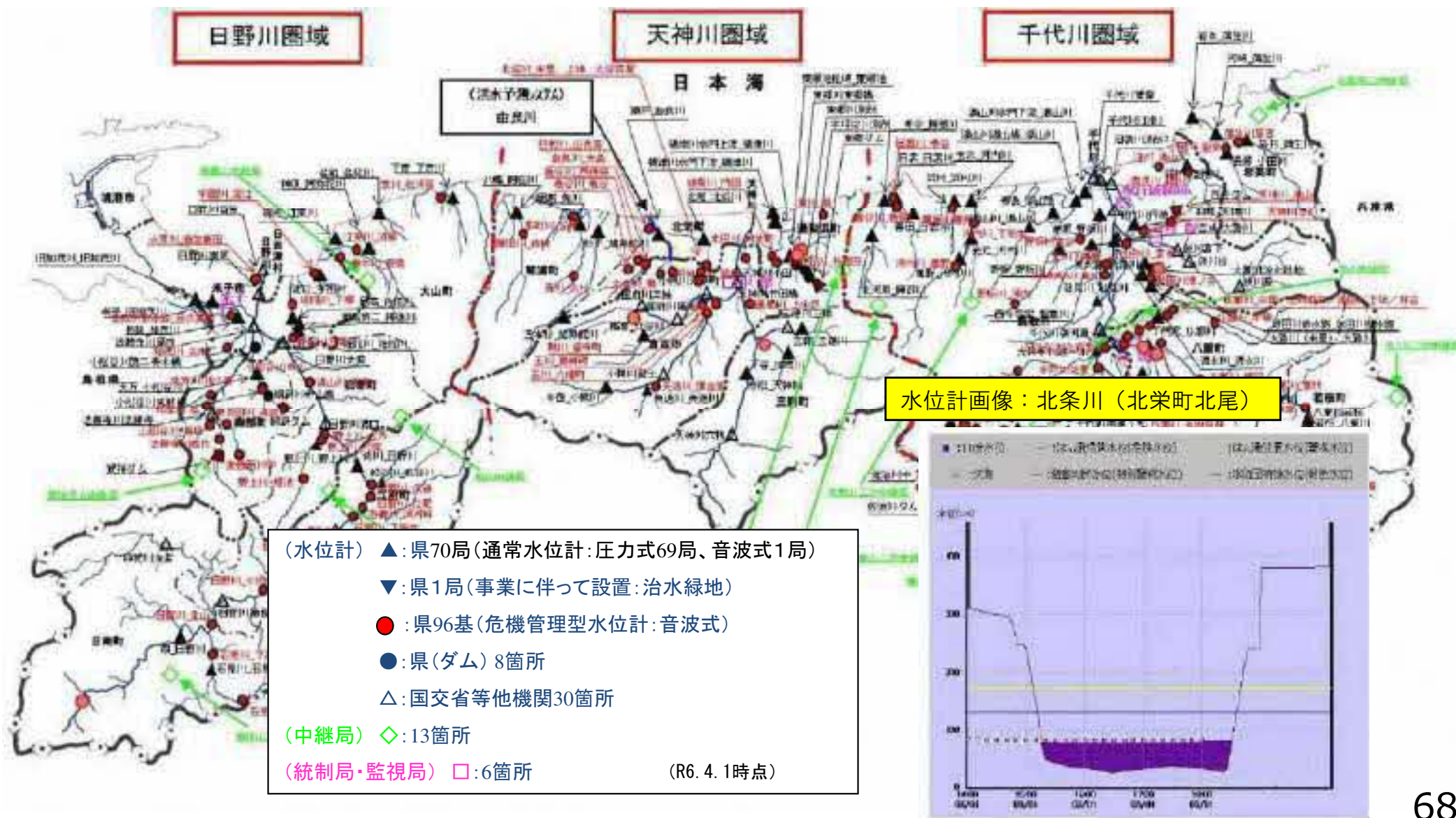
河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等を継続して設置していく。(R4年度161箇所⇒R5年度165箇所へ増設)

※R6年度は東部（八頭）2箇所、西部（日野）5箇所増設予定



重要水防区域や溢水の恐れのある箇所、溢水により市役所、役場が浸水する恐れのある箇所等、水位計等を設置していく。(R5年度までに166箇所設置済み)

※R6年度は西部（日野）3箇所増設予定

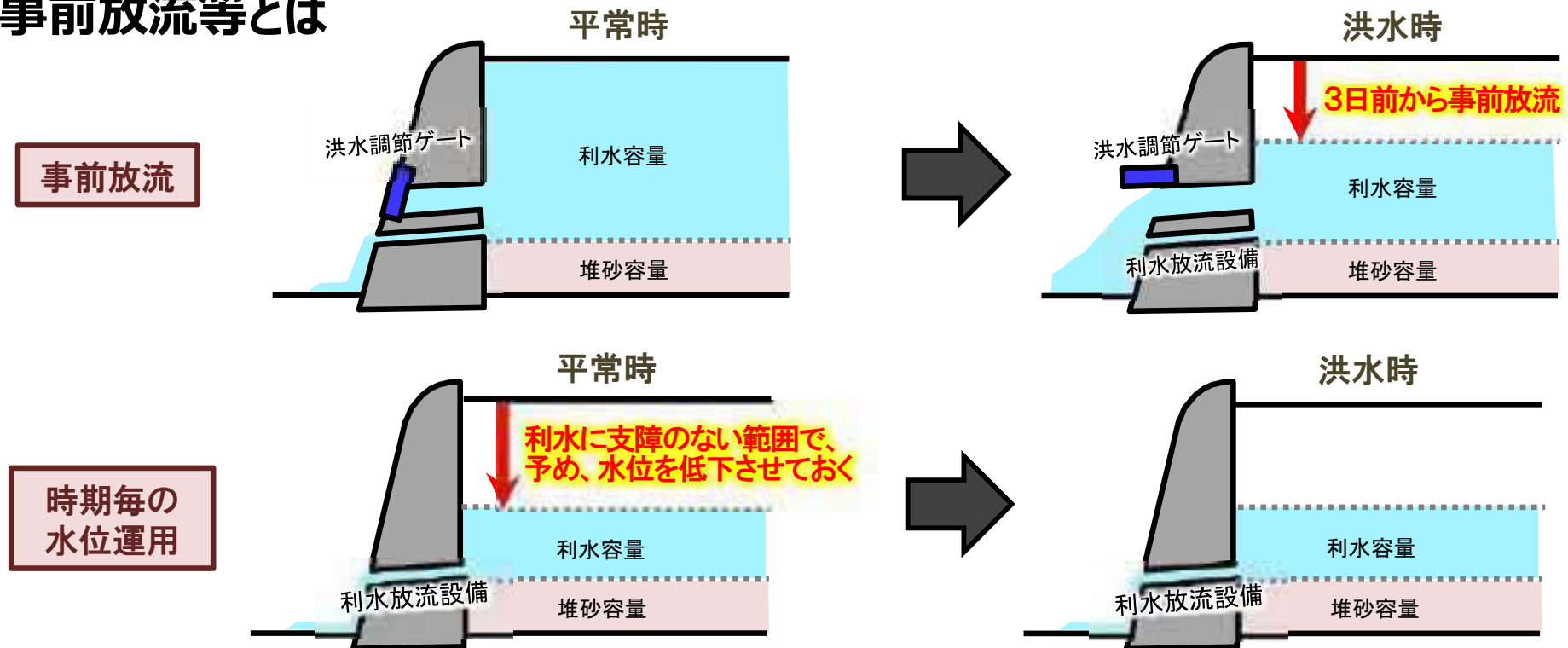


取組9 既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

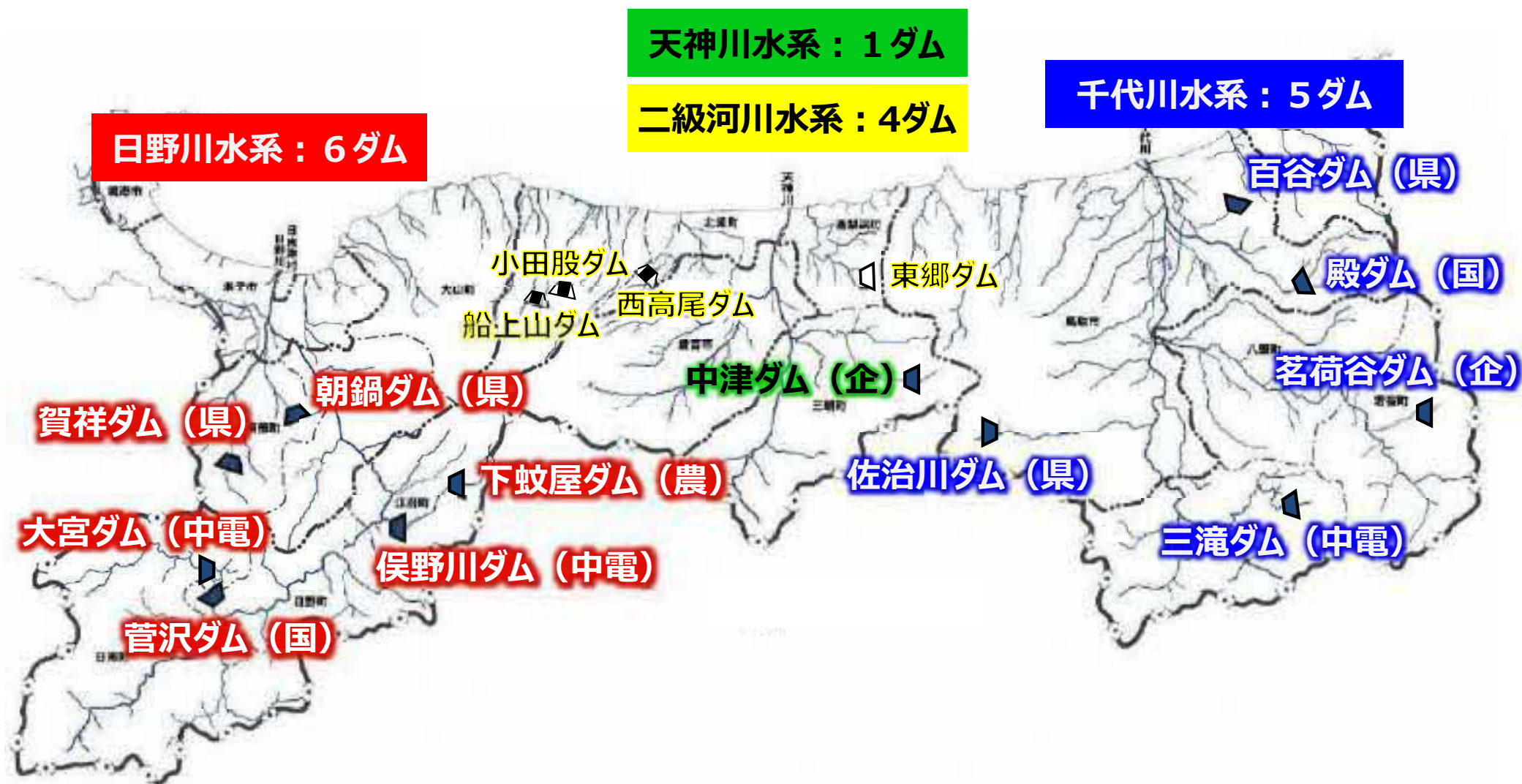
県

- ◎ 令和元年東日本台風を受け、令和元年12月、政府は、『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』を打ち出しました。これにより、
- ① 全国全ての既存ダム(治水ダム・利水ダムともに)で『事前放流等』を実施する。
 - ② 水系毎に、河川管理者・ダム管理者・関係利水者が一同で、事前放流等の方法等を記した『治水協定』を締結する。
- ことになりました。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調節機能の強化を図っています。

事前放流等とは



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組



既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
千代川	殿ダム	国交省	1,120万m ³	550万m ³	570万m ³	307mm	311万m ³
“	佐治川ダム	県	188万m ³	147.6万m ³	40.4万m ³	別途運用	22.8万m ³
“	茗荷谷ダム	企業局	40万m ³	—	40万m ³	236mm	27.7万m ³
“	三滝ダム	中電	15.8万m ³	—	15.8万m ³	142mm	14.7万m ³
“	百谷ダム	県	24.2万m ³	20万m ³	4.2万m ³	—	4.2万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 百谷ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注1	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
天神川	中津ダム	企業局	121万m ³	-	121万m ³	346mm	78.3万m ³ ^{注2}
橋津川	東郷ダム	県	65万m ³	46万m ³	19万m ³	-	5.4万m ³
由良川	西高尾ダム	北栄町 琴浦町	38.7万m ³	-	38.7万m ³	-	13.8万m ³
洗川	小田股ダム	北栄町 琴浦町	39.0万m ³	-	39.0万m ³	-	14.5万m ³
勝田川	船上山ダム	北栄町 琴浦町	11.3万m ³	-	11.3万m ³	-	4.0万m ³

(※注1) ①累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

②東郷ダム、西高尾ダム、小田股ダム、船上山ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

(※注2) 中津ダムは令和3年11月～令和6年7月までリニューアル事業（発電停止）のため、フリーフロー放流としており、事前放流（洪水調整）はできません。

令和6年8月から運営権がM&C鳥取水力発電株式会社に移りますので、治水協定に基づき事前放流（洪水調整）を実施するよう調整中です。

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
日野川	菅沢ダム	国交省	1,720万m ³	【7月】 250万m ³ 【8月】 680万m ³ 【9月】1,650万m ³ 【10月】 510万m ³ 【ほか】 160万m ³	【7月】 1,470万m ³ 【8月】 1,040万m ³ 【9月】 70万m ³ 【10月】1,210万m ³ 【ほか】 1,560万m ³	241mm	104.2万m ³
“	賀祥ダム	県	669万m ³	330万m ³	339万m ³	別途運用	182万m ³
“	朝鍋ダム	県	119万m ³	64万m ³	55万m ³	—	26.5万m ³
“	俣野川ダム	中電	670万m ³	—	670万m ³	251mm	670万m ³
“	大宮ダム	中電	31.9万m ³	—	31.9万m ³	241mm	31.9万m ³
“	下蚊屋ダム	農水省	344万m ³	—	344万m ³	—	26.4万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 朝鍋ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

令和元年東日本台風（19号）を踏まえ、安全・確実な住民避難につなげるため防災対策「水防対策検討会」（主にハード対策）と「防災避難対策検討会」（主にソフト対策）を設置。

【台風19号で甚大な被害が発生】



・阿武隈川、千曲川など71河川、140箇所
で堤防決壊が発生
・「バックウォーター現象」や「越水」により堤防が決壊

阿武隈川：福島県須賀川市（令和元年10月13日）

【水防対策検討会・防災避難対策検討会設置】

<水防対策検討会>

・「治水施設の機能向上により、洪水氾濫の軽減等を図りつつ、効果的な水防活動等により、いかに安全な住民避難を実現させるか」という観点で検討

第2回水防対策検討会
（令和元年12月2日）



<防災避難対策検討会>

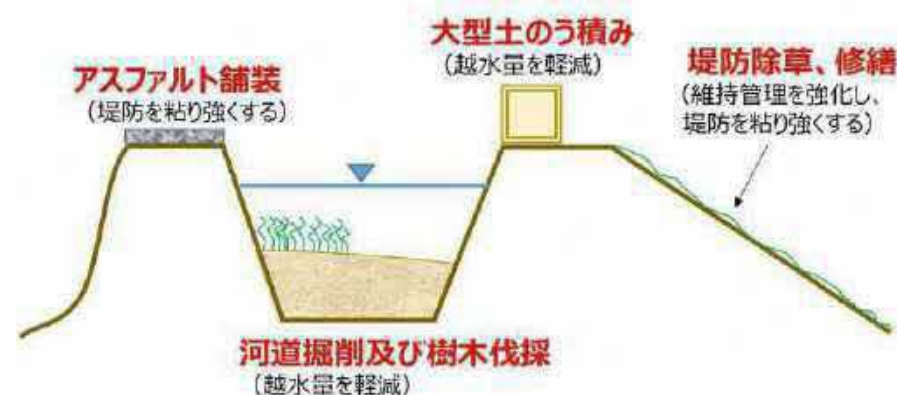
- ・次の項目を主要な柱として議論
- ①「積極的な避難」をこれからの常識とするための取組
 - ・避難所環境の整備、避難情報・避難行動の理解促進
- ②被害の広域化、ライフラインの切断への対処
- ③ハザードエリアを踏まえた避難の体制整備

今後の取組方針

【水防対策（ハード対策）】

<短期的取組>

- ①堤防強化（堤防舗装、管理強化、水防体制強化）
- ②バックウォーター対策（河道掘削及び樹木伐採）
- ③河川情報（河川監視カメラ・水位計）の発信強化 等



【防災避難対策（ソフト対策）】

- ・あらゆる人が積極的に避難行動を取ることが常識となるよう意識啓発や情報提供を行う
- ・あらゆる人が安全に避難でき、健康が維持できる避難所環境を確保していく など

P78避難スイッチモデル事業参照

千代川圏域における取組状況（R6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小・中学校における防災教育の実施

県の防災の取組やハザードマップを活用した命を守る行動の大切さを伝え、考える。
 <模型実験>

<城北小5年生（50名）>



<グループディスカッション>



<用瀬小5年生（30名）>



【水防対策（ハード対策）】

堤防舗装の実施

R5年度に引き続きバックウォーター区間、重要水防区域における堤防舗装を実施。



R5施工箇所：野坂川（鳥取市）

樋門操作の省力化（手動⇒電動化）

- 地域住民などに市町を經由して操作を委託している手動の樋門について、操作員の負担軽減かつ開閉迅速化による省力化推進のため、電動化に着手。
- 令和5年2月14日に、県内1号機（大路川：鳥取市雲山）の設置を完了し、令和7年度までに全県で160基（予定）を設置していく。



- 既設ハンドルを取り外し機器を固定
- 電動ドリルで昇降作業可能

千代川圏域における取組状況（平成6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小学校における防災教育の実施（令和3年度4校）

- 「やず・防災つたえ隊」の活動として、『洪水・土砂災害』の概要等（動画・クイズ）の学習を実施。
- 「防災マップ」を活用した学習（危険箇所・避難箇所）を実施。
 - ・7月4日八東小学校5年生22名
 - ・2月29日若桜学園小5年生18名



八東小学校での防災学習の様子

若桜学園小学校での現場見学の様子



【水防対策（ハード対策）】

- 堤防舗装の実施
バックウォーター区間、重要水防区域Aにおける堤防舗装を実施。



R4施工箇所：八東川（八頭町）

天神川圏域における取組状況（令和6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

小学校における防災教育の実施
令和5年度（北谷小学校）

- 小学5年生を対象に、土砂災害の種類、危険な場所、大雨情報の知り方などを学び、安全、迅速な避難の知識を学んだ。
- 模型を用いて土砂災害のメカニズムを学ぶとともに、堰堤などの対策施設の効果を学んだ。



北谷小学校（2/14）

自治会における防災教育の実施
令和5年度（みどり町自主防災会）

- 倉吉すみどり町の地域住民を対象に洪水や土砂災害が発生すると予想又は発生した時の行動について講義を実施。
- ハザードマップを確認し、家族間でも避難に関する話をする事の大切さを伝えた。



倉吉すみどり町自主防災会（9/3）

【水防対策（ハード対策）】

● 河道掘削の実施

出水等により河川内に堆積した土砂を除去し、河川の安全・安心の向上を図った。

国府川（倉吉市）



天神川(三朝町町)



日野川圏域における取組状況（R6年度以降も継続）

【防災避難対策（ソフト対策）】

「まるごとまちごとハザードマップ（想定浸水表示板の設置）」（米子市）



- 令和2～4年度 南部町 32箇所
- 令和3年度 米子市 1箇所
- 令和4年度 日吉津村 18箇所
- 令和5年度 伯耆町 4箇所

「防災教育」の実施

- 【令和3年度】 八郷小（伯耆町）、会見小（南部町）
- 【令和4年度】 会見小（南部町）、箕蚊屋小（米子市）
- 【令和5年度】 車尾小・就将小・箕蚊屋小（米子市）、大山小（大山町）

車尾小学校（米子市）実施状況



大山小学校（大山町）実施状況



「河川監視カメラ・低コストの水位計」の増設

令和5年度までの実施状況

- 【河川監視カメラ】 33箇所（加茂新川（米子市）ほか）
- 【危機管理型水位計】 20箇所（加茂川放水路（米子市）ほか）

令和6年度以降

- 【河川監視カメラ】 朝鍋ダム（南部町）ほか
- 【危機管理型水位計】 必要に応じて追加設置

【河川監視カメラ】
宇田川
（米子市淀江町）



【危機管理型水位計】
加茂川放水路
（米子市目久美町）

【水防対策（ハード対策）】



精進川（米子市尾高）



● 堤防強化

令和5年度までの実施状況

- バックウォーター区間、重要水防区域Aにおける堤防舗装
（小松谷川・北方川（南部町）、佐陀川・精進川（米子市）、清山川（伯耆町））

令和6年度以降

- バックウォーター区間、重要水防区域Bにおける堤防舗装
（佐陀川・精進川・野本川・天井川（米子市）、絹屋川（南部町））

鳥取県における取組状況（令和6年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

- 『洪水・土砂災害』の概要、水害リスク、流域治水の取組、避難等を小学校を中心に防災学習、出前説明を実施した。
- 防災フェスタに水防に関する展示を行い、防災意識の向上を図った。
- 住民の防災意識向上、避難行動促進のため、子どもへの防災学習は非常に有効であるため、令和6年度も引き続き実施していく。

【主な実施状況】

- 9月10日 防災フェスタ開催（展示出店）
- 10月17日 遷喬小学校 5年生11名
- 11月29日 修立小学校 3年生34名
- 12月18日 東郷小学校 3, 4年生 9名
- 2月 8日 鳥取県銀行協会 9名



土砂災害、流域治水の模型実験の様子



小学校における防災教育の実施



出前説明の実施状況



防災フェスタの実施状況



【水防対策（ハード対策）】

- 令和元年台風19号の甚大な浸水被害が発生したことを踏まえ、本県の課題の抽出及び取り組むべき対策を検討するため、有識者・関係行政機関で構成する「水防対策検討会」を設置した。
- 検討会による提言を受け、速やかに取組を進め早期に効果を発現させるべき内容について、事業を実施中。

【提言内容】

「できる限り越水による堤防決壊を遅らせて避難の時間を稼ぐ対策（粘り強い堤防）」及び「バックウォーター対策」を短期的に取り組むべき。

【事業内容】

- ①堤防強化対策（堤防舗装、大型土のう購入）
- ②浸水想定区域に関する住民理解促進（浸水表示板の設置）
- ③バックウォーター対策（樹木伐採・河道掘削）
- ④河川情報（水位計・河川監視カメラ）の発信強化
- ⑤ダム放流に関する安全・避難対策（説明会の開催）

堤防舗装の実施状況

- 令和5年度予算までで、予定していた重要水防A区間及びバックウォーター箇所等の優先箇所の対策が完了した。
- 今後は、未実施である重要水防区間Bや個別の優先すべき箇所を引き続き実施していく。

精進川（米子市尾高）



野坂川（鳥取市大塚）



避難スイッチとは？

避難行動を起こすきっかけとする目安を、住民自ら決める取り組み

避難スイッチ策定の流れ

市町村が発表する避難情報を基本に、気象警報や目で見える身近な異変を組み合わせ、地域で共有。近隣の方への声かけや、自力で避難が困難な方の避難支援を併せて実施。

(組み合わせ例) 市町村の避難情報 (高齢者等避難) + 河川水位の急激な上昇 * いずれか早い方

事業実施状況

- ※ 令和元年度「防災避難対策検討会」の提言を受け、R2年度から取組を推進
- 令和2・3年度 避難スイッチモデル事業
 - 各地区での避難スイッチ作成を支援
 - [取組地区]
 - 若桜町3地区 (上町、中町、西町)
 - 鳥取市南大覚寺町内会
 - 高齢者福祉施設 (養護老人ホーム鳥取市なごみ苑)
- 令和4年度 手引きの作成
 - 鳥取県版「避難スイッチ」取り組みの手引きを作成
 - <https://www.pref.tottori.lg.jp/299571.htm>

南大覚寺町内会 (鳥取市) の避難スイッチ

鳥取市からの避難情報に基づく避難行動の実施を前提とし、町内会による逃げ遅れの住民による呼びかけを次の基準により補完

○避難に関する各種情報


⇒ 市からの情報(高齢者等避難(警戒レベル3)、避難指示(警戒レベル4))

○目で見える「身近な異変」

⇒ 大路川(吉成)の水位変化、地区ふれあい会館後ろの樋門横の水位変化

水防団待機水位の段階で町内会が情報収集
町内会で住民の避難行動を補完

避難情報	警戒レベル	避難指示	避難行動
高齢者等避難	警戒レベル3	避難指示(警戒レベル4)	避難行動
避難指示(警戒レベル4)	警戒レベル4	避難指示(警戒レベル5)	避難行動
避難指示(警戒レベル5)	警戒レベル5	避難指示(警戒レベル6)	避難行動
避難指示(警戒レベル6)	警戒レベル6	避難指示(警戒レベル7)	避難行動



樋門横階段に目安を表示 (地区の集会所から視認可能)

今後の支援等

- ・ 支え愛マップづくりの過程で希望する地域に避難スイッチに関する助言等を受ける経費を支援(支え愛マップ作成推進事業・県社協委託)

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

(流域治水の取組)

地域みんなで取り組む「流域治水」

・頻発する大規模水害に備え、行政ほか住民や事業者が協力して被害を減らす努力が不可欠となっており、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」への転換を推進しています。

流域治水の施策イメージ(3本の柱)

<p>① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</p> <p>雨水貯留機能の拡大 雨水域 [県・市、企業、住民] 雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用</p> <p>流水の貯留 河川区域 [国・県・市・利水者] 治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用 [国・県・市] 土地利用と一体となった遊水機能の向上</p> <p>持続可能な河道の流下能力の維持・向上 [国・県・市] 河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備</p> <p>氾濫水を減らす [国・県] 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等</p>	<p>② 被害対象を減少させるための対策</p> <p>リスクの低いエリアへ誘導 / 避難域 住まい方の工夫 [県・市、企業、住民] 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討</p> <p>浸水範囲を減らす 避難域 [国・県・市] 二級堤の整備、自然堤防の保全</p> 	<p>③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</p> <p>土地のリスク情報の充実 避難域 [国・県] 水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信 避難体制を強化する [国・県・市] 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握</p> <p>経済被害の最小化 [企業、住民] 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定 住まい方の工夫 [企業、住民] 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進</p> <p>被災自治体の支援体制充実 [国・企業] 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化 氾濫水を早く排除する [国・県・市等] 排水門等の整備、排水強化</p>
--	--	---

➡ 3つの柱の対策を組み合わせ、総合的・多層的に水災害に備える

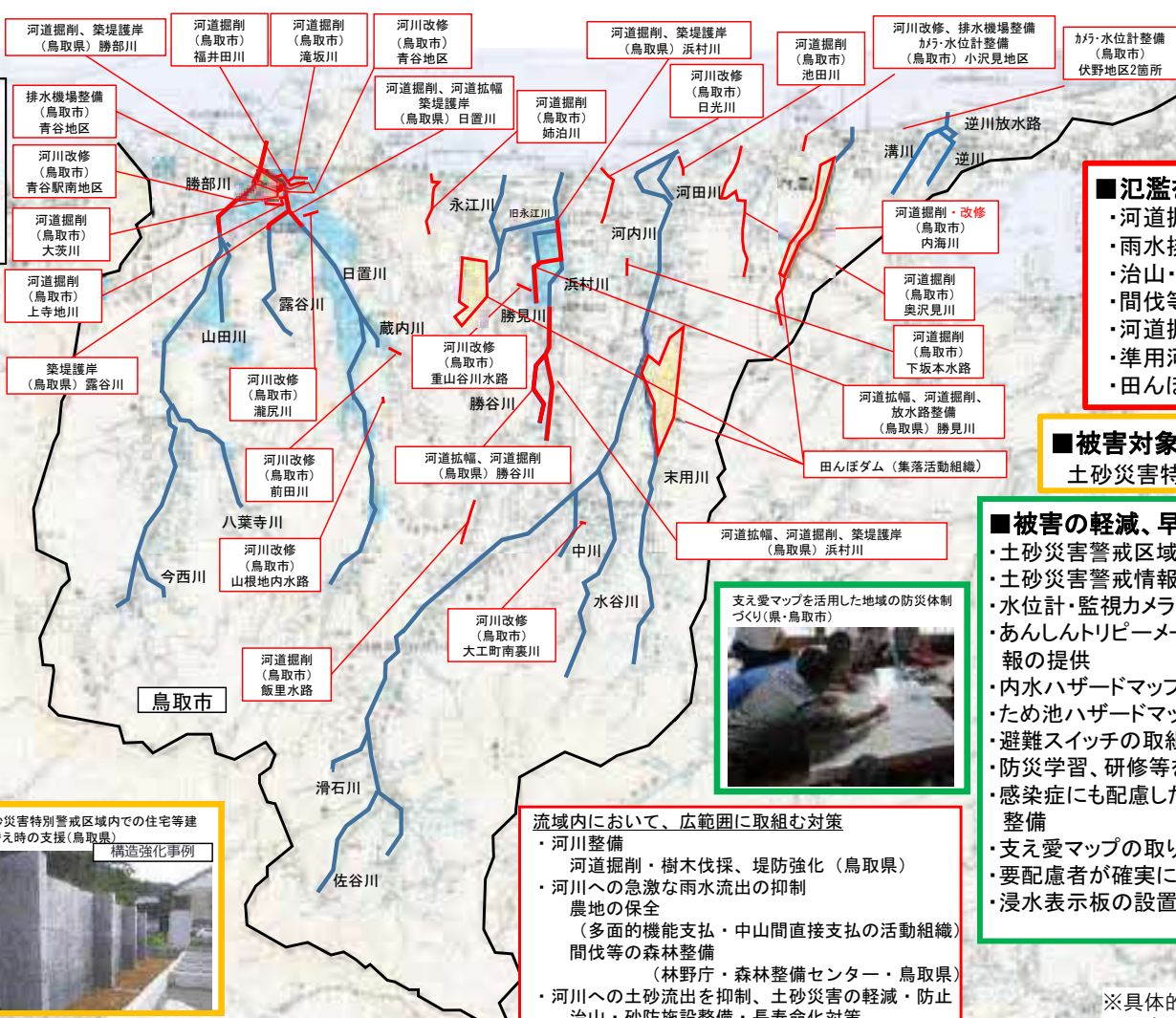
～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、浜村川、勝見川、勝谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和54年10月台風20号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。
また、勝部川、日置川、露谷川については、観測史上最大降雨が発生した昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、被害の軽減を図ります。
○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。

位置図



- [凡例]
- 二級河川
 - 氾濫を防ぐ対策
 - エリア境
 - 浸水実績
(浜村川流域)
昭和54年10月台風20号
(勝部川流域)
昭和62年10月台風19号



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道掘削、河道拡幅、堤防整備、放水路整備等
 - 雨水排水施設の整備
 - 治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
 - 間伐等の森林整備
 - 河道掘削・樹木伐採
 - 準用河川等の河川整備
 - 田んぼダムによる流出抑制対策 等

- 被害対象を軽減させるための対策
- 土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
 - 土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
 - 水位計・監視カメラの設置
 - あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
 - 内水ハザードマップ・浸水想定区域図の作成
 - ため池ハザードマップ作成・避難訓練の実施
 - 避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成
 - 防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
 - 感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
 - 支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
 - 要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進
 - 浸水表示板の設置 等



- 流域内において、広範囲に取組む対策
- 河川整備
 - 河道掘削・樹木伐採、堤防強化（鳥取県）
 - 河川への急激な雨水流出の抑制
 - 農地の保全
(多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織)
 - 間伐等の森林整備
(林野庁・森林整備センター・鳥取県)
 - 河川への土砂流出を抑制、土砂災害の軽減・防止
 - 治山・砂防施設整備・長寿命化対策

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】露谷川等の護岸整備を行う。

【中期】勝見川、日置川については護岸整備、勝谷川、勝部川については、下流域に引き続き、河道拡幅・河道掘削・護岸整備行う。

【中長期】浜村川、勝谷川の河道拡幅・護岸整備を行う。

あわせて、河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

浜村川・勝部川外流域治水プロジェクト(県東部西エリア)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(浜村川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	[Red bar]		
	(勝見川)河道拡幅・河道掘削・放水路整備	鳥取県	[Red bar]		
	(勝谷川)河道拡幅・河道掘削	鳥取県	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]
	(勝部川)河道拡幅・築堤護岸	鳥取県	[Red bar]	[Red bar]	[Red bar]
	(日置川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	[Red bar]		
	(露谷川)築堤護岸	鳥取県	[Red bar]		
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	[Red bar]		
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市	[Red bar]		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[Red bar]		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[Red bar]		
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県	[Red bar]		
	(青谷地区)排水機場整備	鳥取市	[Red bar]		
	(小沢見地区)排水機場整備	鳥取市	[Red bar]		
	(小沢見地区、青谷地区、青谷駅南地区)河川改修	鳥取市	[Red bar]		
	(日光川)河川改修	鳥取市	[Red bar]		
	(瀧尻川、内海川、前田川、山根水路、大工町南裏川、重山谷川)河川改修	鳥取市	[Red bar]		
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	会下地区、上光地区、内海地区		
	被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 鳥取市	[Yellow bar]	
土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進		鳥取県	[Green bar]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	[Green bar]		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	あんしんトリブメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市	[Green bar]		
	浸水想定区域図、内水ハザードマップ作成	鳥取市	[Green bar]		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市	[Green bar]		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市	[Green bar]		
	浸水深表示の設置	鳥取県 鳥取市	[Green bar]		

浜村川・勝部川外流域治水プロジェクト(県西部エリア)〔フォローアップ資料〕

R5年度末時点 取組状況

〔評価凡例〕 前倒して実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要	
			短期	中期	中長期						
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	(浜村川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県						○ 河道拡幅・護岸整備	河道拡幅・護岸整備		
	(勝見川)河道拡幅・河道掘削・放水路整備	鳥取県						○ 放水路整備に向けての条件整理	放水路整備に向けての条件整理		
	(勝谷川)河道拡幅・河道掘削	鳥取県						ー	ー		
	(勝部川)河道拡幅・築堤護岸	鳥取県						○ 流下能力向上の検討	流下能力向上の検討		
	(日置川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県						○ 護岸整備	護岸整備		
	(露谷川)築堤護岸	鳥取県						○ 護岸整備・工機補償	護岸整備・工機補償		
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県						○ 河道掘削・樹木伐採	河道掘削・樹木伐採		
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市				内海川		○ 河道掘削L=320m	河道掘削L=300m		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県						○ 治山施設整備(八葉寺地区外)	治山施設整備(八葉寺地区外)		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県						○ 砂防施設整備(見生寺谷川外)	砂防施設整備(見生寺谷川外)		
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県				(林野庁) (森林整備センター) (鳥取県)		○ 令和5年度実施済 ○ 72haの間伐実施 ○ 間伐実施済み	事業予定なし 30haの間伐予定 間伐継続実施		
	(青谷地区)排水機場整備	鳥取市				青谷地区		△ 詳細設計中	排水機場用地造成工事		
	(小沢見地区)排水機場整備	鳥取市				小沢見地区		△ 改良工事中	機械・電気設備工事		
	(小沢見地区、青谷地区、青谷駅南地区)河川改修	鳥取市				小沢見地区 青谷地区		× 未実施 × 未実施	未定 未定		
	(日光川)河川改修	鳥取市				青谷駅南地区		○ 詳細設計中	排水路整備L=30m	R4.9.1追加	
	(瀬尻川、内海川、前田川、山根水路、大工町南裏川、重山谷川)河川改修	鳥取市	瀬尻川				瀬尻川		△ 詳細設計中	用地買収	
			内海川				内海川		○ 改良工事実施(R5年度L=22m)	予定なし	R5.6.5追加
			前田川				前田川		△ 改良工事中	工事完成	
			山根水路				山根水路		× 未実施	予定なし	
			大工町南裏川				大工町南裏川		△ 詳細設計中	未定	
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	会下地区				会下地区		○ 実施予定991aのうち、35%で実施見込み	実施予定991aのうち、53%で実施		
		上光地区				上光地区		△ 地元調整	地元調整		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県				(鳥取県)		ー 建て替え時の支援として市町への補助金を確保	建て替え時の支援として市町への補助金を確保		
		鳥取市				(鳥取市)		△ 鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施(5年度0件)	鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県						○ 地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県						○ 気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置	ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置・運用		
	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ 伏野・東大路・小沢見の浸水面所計5箇所のカメラ・水位情報公開	予定なし	R5.6.5追加	
						(鳥取県)		○ あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。			
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市				(鳥取市)		○ ため池ハザードマップ作成済	ため池ハザードマップ作成済		
	浸水想定区域図、内水ハザードマップ作成	鳥取市						△ 浸水モデルの作成	予定区域の内水浸水想定区域図の作成・公表を完了		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ 支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市				(鳥取市)		○ 講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及	講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及		
						(鳥取県)		○ 防災講習を実施	防災講習を実施		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市						○ 避難所において感染症に対応するための備蓄品整備	備蓄品の整備		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市				(鳥取県)		○ 市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		
						(鳥取市)		○ 3地区で見直しを実施	継続実施		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市						○ 個別避難計画作成等の推進	継続実施		
	浸水深表示の設置	鳥取市				(鳥取市)		○ 事業完了	経年劣化等対応		

- 流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】蒲生川下流域の河道拡幅・河道掘削・護岸整備を行う。
 - 【中期】塩見川については河道の暫定整備、箭溪川については放水路整備を行う。
蒲生川については下流域に引き続き上流域の河道拡幅・河道掘削・護岸整備を行う。
 - 【中長期】蒲生川上流域、塩見川、箭溪川、江川の河道拡幅・護岸整備を行う。
あわせて、河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

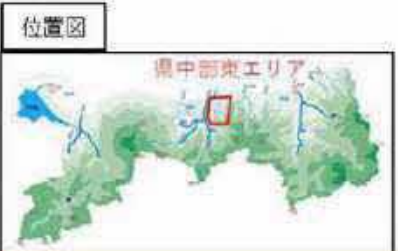
塩見川・蒲生川外流域治水プロジェクト(県東部東エリア)					
区分	対策内容	実施主体	短期	工程 中期	中長期
			下流域	上流域	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(蒲生川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県			
	(塩見川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県			
	(箭溪川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸・放水路整備	鳥取県			
	(江川県管理区間)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県			
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	(塩見川潮止樋門)樋門の長寿命化対策	鳥取県			
	(平野川)溪流保全工	鳥取県			
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県			
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市			
	(湯山地区、浜湯山地区)排水機場整備・河川改修	鳥取市			
	(江川・鳥取市管理区間)河川改修	鳥取市			
	(細川地区)河川改修	鳥取市			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援	鳥取県 鳥取市 岩美町			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県			
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県			
	あんしんトリビメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県			
	内水ハザードマップ、浸水想定区域図作成	鳥取市			
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市 岩美町			
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市 岩美町			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市 岩美町			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市 岩美町			
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市 岩美町			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市 岩美町			

塩見川・蒲生川外流域治水プロジェクト(県東部東エリア)(フォローアップ資料)			R5年度末時点 取組状況			〔評価凡例〕 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー)				
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(蒲生川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	下流域		上流域		○	河道掘削・護岸整備	河道掘削・護岸整備	
	(塩見川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	暫定整備		本施工		○	河道掘削・護岸整備	河道掘削・護岸整備	
	(箭浜川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸・放水路整備	鳥取県	暫定整備		本施工		○	予備設計(道路・取水施設等)	予備設計(橋梁予備等)	
	(江川県管理区間)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県					ー			
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	河道掘削・樹木伐採	河道掘削・樹木伐採	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	治山施設整備(浦富地区外)	治山施設整備(浦富地区外)	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	砂防施設整備(山/谷川外)	砂防施設整備(山/谷川外)	
	(塩見川潮止樋門)樋門の長寿命化対策	鳥取県					○	継続実施	継続実施	
	(平野川)溪流保全工	鳥取県					○	床固工	溪流保全工	
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県				(林野庁) (森林整備センター)	◎	52haの間伐実施	20haの間伐予定	
	(鳥取市管理区間)河道掘削	鳥取市				(鳥取市)	○	間伐実施済み	間伐継続実施	
	(湯山地区、浜湯山地区)排水機場整備・河川改修	鳥取市				湯山地区	×	河道掘削L=320m	河道掘削L=300m	
	(江川・鳥取市管理区間)河川改修	鳥取市				浜湯山地区	×		予定なし	
	(細川地区)河川改修	鳥取市					×		予定なし	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県)	ー	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	
						(鳥取市)	○	鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施(5年度0件)	鳥取市土砂災害特別警戒区域等危険住宅立替事業実施	
						(岩美町)	○	取組中	継続実施	
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)	
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県					ー	ー	国土省主催「ワンコイン浸水センサ実証実験実施予定」	
	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県				(鳥取県)	○	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
	内水ハザードマップ、浸水想定区域図作成	鳥取市				湯山地区	×	未実施	予定なし	
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	鳥取市 岩美町				(鳥取市)	○	ため池ハザードマップ作成済	ため池ハザードマップ作成済	
						(岩美町)	△	ため池ハザードマップは作成済。避難訓練は未実施。	各地域への訓練実施の働きかけ	
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県)	○	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	
						(鳥取市)	○	講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及	講座資料を活用したマイ・タイムラインの普及	
						(岩美町)	△	情報提供の実施	作成支援の研修会を実施	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県)	○	防災講習を実施	防災講習を実施	
						(鳥取市)	○	防災講習の実施	防災講習の実施	
						(岩美町)	○	講演会を実施	自主防災士育成、自主防災組織の研修訓練支援	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	鳥取市 岩美町				(鳥取市)	○	避難所において感染症に対応するための備用品整備	備用品の整備	
					(岩美町)	ー				
支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 鳥取市 岩美町				(鳥取県)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		
					(鳥取市)	△	取組を継続	継続して実施		
					(岩美町)	○	1つの自治会内の11の区で作成	未作成集落への継続した働きかけを行う		
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	鳥取市 岩美町				(鳥取市)	○	申請により実施	継続して実施		
					(岩美町)	○	全集落へ文書送付、説明実施。随時作成中。	継続して実施する		

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、橋津川については、東郷池周辺において、多くの浸水被害が発生した平成23年9月台風12号洪水と同規模の洪水から家屋浸水被害の軽減を図ります。

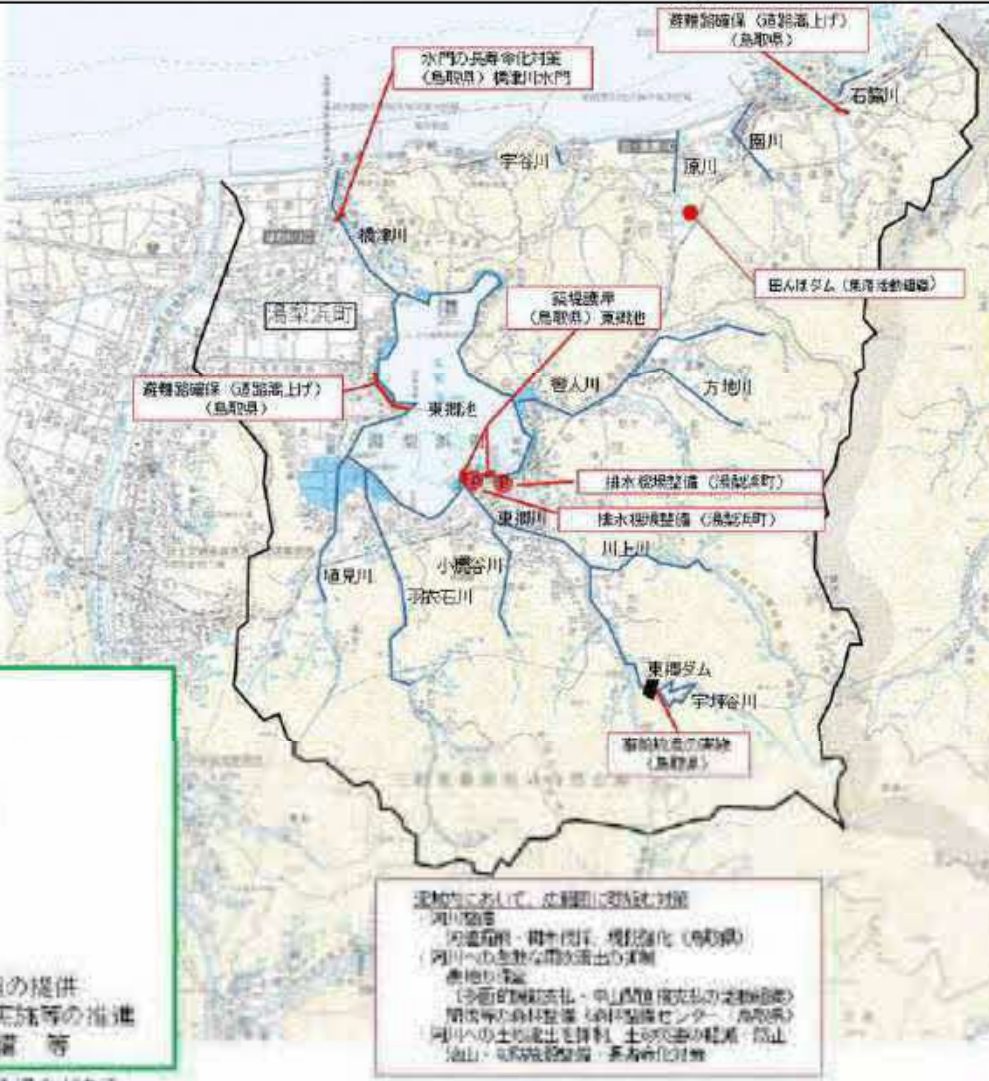
○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・築堤護岸
 - ・河道掘削・樹木伐採・堤防強化
 - ・水門の長寿命化対策
 - ・排水機場の整備
 - ・間伐等の森林整備
 - ・治山・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
 - ・避難路確保のための道路高上げ
 - ・東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築
 - ・田んぼダムによる流出抑制対策 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え時の支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進
 - ・土砂災害警戒情報と危険度情報の提供
 - ・水位計・監視カメラの設置
 - ・まるごとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施
 - ・避難スイッチの取組推進
 - ・ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施
 - ・広域的な避難の必要性の検討
 - ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
 - ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
 - ・あふしんトリビュート等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
 - ・要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進
 - ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備 等



【凡例】

- 二級河川
- 氾濫を防ぐ対策
- ダム
- エリア境
- 浸水実績 (平成23年9月台風12号)



運動場において、水防訓練実施対策

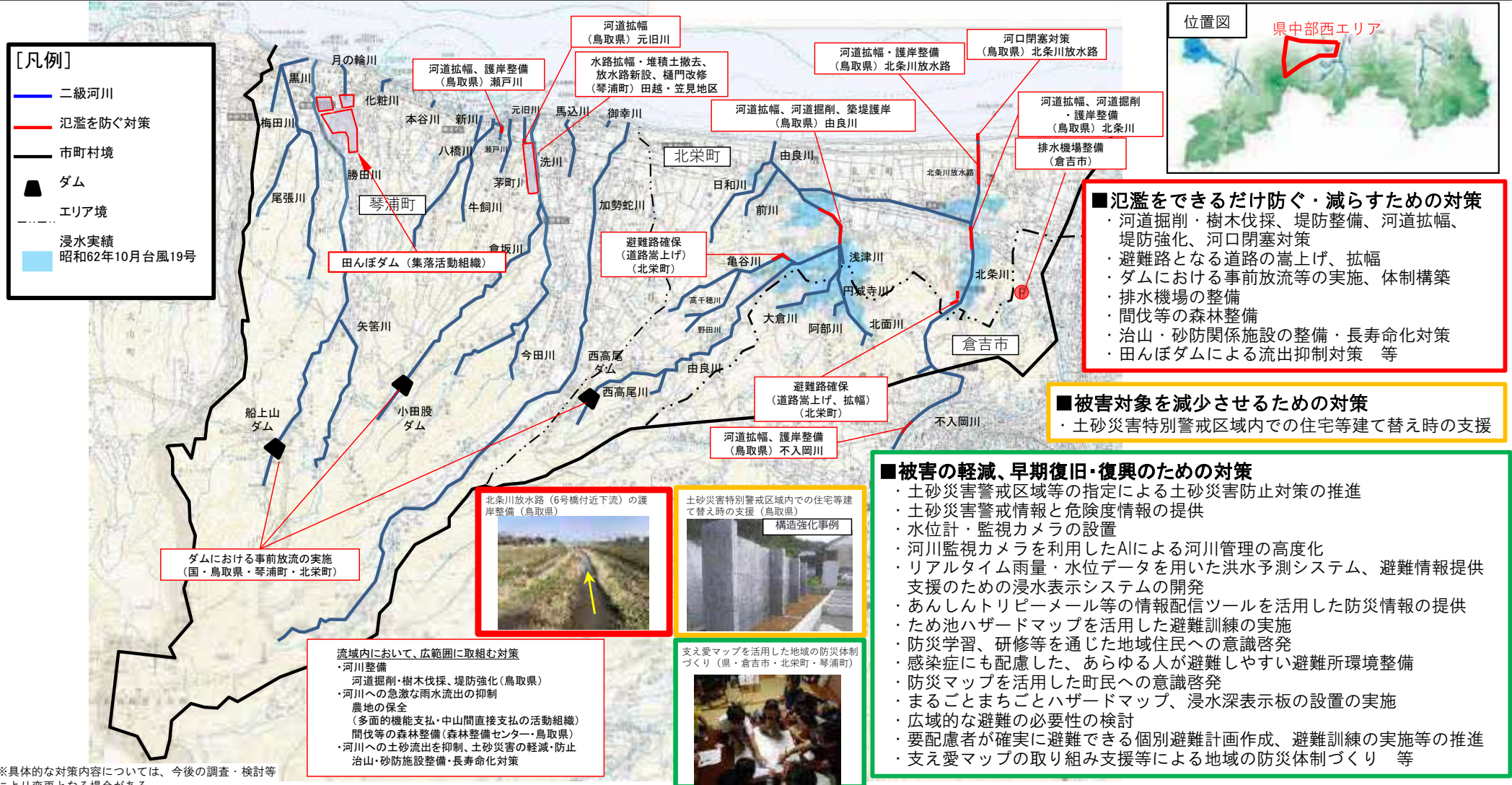
河川沿道
河川沿道掘削・樹木伐採、堤防強化（鳥取県）
河川への土砂流出抑制対策
農地保護
（多目的機能治水、中山間地域安心のための治水対策）
間伐等の森林整備等（中山間地域安心センター、鳥取県）
河川への土砂流出抑制対策、土砂災害の軽減、防止
治山・砂防関係施設、長寿命化対策

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

橋津川外流域治水プロジェクト(県中部東エリア)(フォローアップ資料)		R5年度末時点 取組状況			[評価凡例] 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:-					
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(東郷池)築堤護岸	鳥取県	■	■	■		○ 築堤護岸等(松崎工区)	築堤護岸等(松崎工区)		
	(県管理区間)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	■	■	■		○ 河道掘削・樹木伐採(東郷川外)	河道掘削・樹木伐採(東郷川外)		
	(橋津川水門)水門の長寿命化対策	鳥取県	■	■	■		○ 詳細設計(制水ゲート開閉装置)	詳細設計(制水ゲート開閉装置)		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	■	■	■		○ 治山施設整備(藤津地区・羽衣石地区外)	治山施設整備(藤津地区・羽衣石地区外)		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	■	■	■		○ 砂防施設整備(谷谷川・川上川外)	砂防施設整備(谷谷川・川上川外)		
	(石脇地区、上浅津地区外)避難路となる道路の嵩上げ(県道泊瀬見青谷線、県道東郷湖線外)	鳥取県	■	■	■	石脇地区	○ 測量調査(石脇地区)	測量調査(石脇地区)	R4.9.1追加	
	東郷ダムにおける事前放流の実施、体制構築	鳥取県	■	■	■	上浅津地区外	△ 事前放流の実施	事前放流の実施		
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県	■	■	■	(森林整備センター)	-	事業予定なし		
	(松崎地区)排水機場整備 2箇所	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 水門整備(新町川)	水門整備(新町川)		
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	■	■	■	(湯梨浜町)	○ R4稼働の龍島排水機場の効果を確認 新町川排水機場設置に向けての用地交渉	新町川排水機場設置に向けて計画検討		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の時の支援	鳥取県	■	■	■	(鳥取県)	- 建て替え時の支援として市町への補助金を確保(実施なし)	建て替え時の支援として市町への補助金を確保		
		湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	- 該当する相談なし	引き続き相談を受け付け		
土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県	■	■	■		○ 地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	■	■	■		○ 気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県	■	■	■		-	危機管理型水位計設置(東郷池) 河川監視カメラ設置(羽衣石川)		
	まるごとまちごとハザードマップ、浸水深表示板の設置の実施	湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	○ 県により町内の県当施設へ表示板を設置	自治公民館等の緊急避難場所への設置を検討		
	避難スイッチの取組推進	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援		
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	○ 集落の防災講習会に出向き避難スイッチを説明	集落の防災講習会に出向き取り組みを推進		
	広域的な避難の必要性の検討	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ ため池サポートセンターを共同して1地区で避難訓練を実施(国信)	他の訓練と合同での実施を検討		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(鳥取県)	○ 広域避難体制の整備等を行う市町村に補助金を支給	広域避難体制の整備等を行う市町村を交付金で支援		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	- 広域避難の具体的な検討に至っていない	広域避難ケースと避難先の検討		
	あんしんトリブメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供		鳥取県	■	■	■	(鳥取県)	○ 市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	
			湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	○ 支え愛マップ作成済みの3地区でステップアップ事業を活用し、防災体制の強化を図った(橋津、新川、松崎)	引き続き、社会福祉協議会の協力により支え愛マップの取り組みを支援	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備		鳥取県	■	■	■	(鳥取県)	○ 小学校と連携して防災教育の実施を検討	小学校と連携して防災教育の実施を検討	
			湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	○ 各自治会等の実施する防災講習、避難訓練で意識啓発 R5実績 延べ25団体	各自治会、福祉施設、教育団体で実施する防災講習・避難訓練で意識啓発	
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成、避難訓練の実施等の推進		鳥取県	■	■	■	(鳥取県)	○ あんしんトリブメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter等)のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	あんしんトリブメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter等)のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
			湯梨浜町	■	■	■	(湯梨浜町)	○ 町公式LINEの新設に伴い防災メニューを設置し防災情報を配信 町職員参集メールのシステムを更新	導入した情報配信ツールを活用して防災情報を提供	
		湯梨浜町	■	■	■		○ 折り畳み式ベッドの購入			
		湯梨浜町	■	■	■		△ 要配慮者利用施設の避難訓練の実施と実施報告書の提出を依頼	福祉部局と連携し、個別避難計画作成につなげる		

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、由良川・北条川については、観測史上最大被害である昭和62年10月台風19号と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、家屋の浸水被害軽減を図ります。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



二級水系由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）

【ロードマップ】

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】北条川放水路の護岸整備、河口閉塞対策等を行う。
 【中期】北条川放水上流域における北条川の河道拡幅・河道掘削・護岸整備等を行う。
 【中長期】由良川の河道拡幅・河道掘削・護岸整備等を行う。
 あわせて、エリア内河川の河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

由良川外流域治水プロジェクト（県中部西エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(由良川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県	短期	中期	中長期
	(北条川)河道拡幅・河道掘削・護岸整備	鳥取県	短期	中期	中長期
	(北条川放水路)河道拡幅・河道掘削・護岸整備、河口閉塞対策	鳥取県	短期	中期	中長期
	(県管理区域)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	短期	中期	中長期
	(不入岡川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県	短期	中期	中長期
	(瀬戸川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県	短期	中期	中長期
	(元旧川)河道拡幅	鳥取県	短期	中期	中長期
	ダム(船上山、小田股、西高尾)における事前放流の実施、体制構築	鳥取県 中国四国農政局 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	短期	中期	中長期
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	短期	中期	中長期
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県	短期	中期	中長期
	(米里地区)避難路となる道路の高上げ、拡幅(町道米里北尾線、米里12号線)	北栄町	短期	中期	中長期
	(大島地区)避難路となる道路の高上げ(町道島取線、町道高千穂西穂波線)	北栄町	短期	中期	中長期
	(古川沢地区)排水機場整備	倉吉市	短期	中期	中長期
(田越・笠見地区)水路拡幅・堆積土撤去、放水路新設、樋門改修	琴浦町	短期	中期	中長期	
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県	短期	中期	中長期
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	短期	中期	中長期
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県	短期	中期	中長期
	河川監視カメラを利用したAIによる河川管理の高度化（北条川で試行）	鳥取県	短期	中期	中長期
	リアルタイム雨量・水位データを用いた洪水予測システム、避難情報提供支援のための浸水表示システムの開発（北条川で試行）	鳥取県	短期	中期	中長期
	あんしんトリビュートメールや防災アプリ等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	倉吉市、北栄町 琴浦町	短期	中期	中長期
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	防災マップを活用した住民への意識啓発	倉吉市、北栄町 琴浦町	短期	中期	中長期
	浸水深表示板の設置	倉吉市	短期	中期	中長期
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	倉吉市 北栄町、琴浦町	短期	中期	中長期

由良川外流域治水プロジェクト(県中部西エリア)[フォローアップ資料]

R5年度末時点 取組状況

[評価凡例] 前倒して実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(由良川)河道拡幅・河道掘削・築堤護岸	鳥取県					○	護岸整備(六尾地区)	護岸整備(六尾地区)	
	(北条川)河道拡幅・河道掘削・護岸整備	鳥取県					○	測量・設計、北尾地区の詳細設計等(米里地区)	測量・設計、北尾地区の詳細設計等(米里地区)	
	(北条川放水路)河道拡幅・河道掘削・護岸整備・河口閉塞対策	鳥取県					○	護岸整備(弓原地区)	護岸整備(弓原地区)	
	(県管理区域)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	河道掘削・樹木伐採(勝田川外)	河道掘削・樹木伐採(勝田川外)	
	(不入岡川)河道拡幅・護岸整備	鳥取県					○	河道掘削・護岸整備	河道掘削・護岸整備	
	(瀬戸川)河道掘削・護岸整備	鳥取県					○	工損補償	工損補償	
	(元旧川)河道掘削	鳥取県					○	測量・設計	用地測量	R4.9.1追加
	ダム(船上山、小田股、西高尾)における事前放流の実施、体制構築	鳥取県 中国四国農政局 琴浦町 北栄町				(中国四国農政局)	○	各ダム(船上山、小田股、西高尾)の治水協定に基づいた貯水運用を行なった。	治水協定に基づく貯水運用の継続。	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	砂防施設整備(加勢蛇川外)	砂防施設整備(加勢蛇川外)	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	砂防施設整備(加勢蛇川外)	砂防施設整備(加勢蛇川外)	
	間伐等の森林整備	林野庁 森林整備センター 鳥取県				(林野庁) (森林整備センター) (鳥取県)	○	間伐実施済み	間伐継続実施	
	(米里地区)避難路となる道路の嵩上げ、拡幅(町道米里北尾線、米里12号線)	北栄町					○	米里北尾線1工区完成、米里12号線:用地買収済	米里12号線:工事着手	
	(大島地区)避難路となる道路の嵩上げ(町道島根道線、町道高千穂西穂波線)	北栄町					○	高千穂西穂波線:用地買収	高千穂西穂波線:工事着手	
	(古川沢地区)排水機場整備	倉吉市					○	R3年度整備済み	R3年度整備済み	
	(田越・笠見地区)水路拡幅・堆積土撤去、放水路新設、樋門改修	琴浦町					○	放水路新設等に係る設計業務及び水路分水部工事発注、業務・工事	水路新設及び改修	R4.9.1追加
洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織				上出地区 八幡地区	○	実施予定3483a全てについて実施見込み	実施予定3483a全てについて実施見込み	R3.9.3追加	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				(鳥取県) (倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	建て替え時の支援として市町への補助金を確保(実績無し)	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)	
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県					○	ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の運用	ため池遠隔監視装置(カメラ、水位センサー)の設置	
	河川監視カメラを活用したAIによる河川管理の高度化(北条川で試行)	鳥取県					○	北条川で試行	北条川で試行	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リアルタイム雨量・水位データを用いた洪水予測システム、避難情報提供支援のための浸水表示システムの開発(北条川で試行)	鳥取県					○	北条川で試行	北条川で試行	
	あんしんトリブナーメールや防災アプリ等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				(鳥取県) (倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	あんしんトリブナーメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。	あんしんトリブナーメール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	ため池サポートセンターと連携し、管理者や地域住民を支援。	ため池サポートセンターと連携し、管理者や地域住民を支援。	
	ため池ハザードマップを活用した避難訓練の実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	ため池サポートセンターと連携し、管理者や地域住民を支援。	ため池サポートセンターと連携し、管理者や地域住民を支援。	
	ため池周辺の集落での研修時にリスク周知	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	△	ため池周辺の集落での研修時にリスク周知	地域と連携して実施についての協議を行う	
	ため池サポートセンターと連携して、防災研修を実施した。	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	ため池サポートセンターと連携して、防災研修を実施した。	ため池サポートセンターと連携して、避難訓練を実施予定。	
	小学校と連携して防災教育を実施。	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	小学校と連携して防災教育を実施。	小学校と連携して防災教育の実施を検討	
	地域の防災研修等で早期避難の重要性等を啓発した。	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	地域の防災研修等で早期避難の重要性等を啓発した。	継続実施	
	避難所環境に係る資機材整備を実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	避難所環境に係る資機材整備を実施	避難所環境に係る資機材整備を実施	
	避難所へのマンホールトイレ、防災井戸整備に係る設計	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	避難所へのマンホールトイレ、防災井戸整備に係る設計	避難所へのマンホールトイレ、防災井戸整備(6か所)	
	集落等での研修会により啓発を実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	集落等での研修会により啓発を実施	研修等で啓発を実施	
	継続実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	継続実施	継続予定	
	防災普及指導員が作成支援を行い、防災マップの更新を行った。	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	防災普及指導員が作成支援を行い、防災マップの更新を行った。	継続実施	
	集落等での研修会により啓発を実施	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	集落等での研修会により啓発を実施	研修等で啓発を実施	
	浸水深表示板の設置	倉吉市					○	自主防災組織の設置に対し1/2補助、4組織が設置。	自主防災組織の設置に対し、1/2補助を行う。	
支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 倉吉市 琴浦町 北栄町				(鳥取県) (倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	市社協等と連携し、支え愛マップ作成を支援した。	継続実施	
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	支え愛マップづくりの取り組み推進等の実施	支え愛マップづくりの取り組み推進等の実施	
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	民生委員等と連携し、個別避難計画の作成を推進した。	継続実施	
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	倉吉市 琴浦町 北栄町				(倉吉市) (琴浦町) (北栄町)	○	支え愛マップに取り組んだ集落で計画を作成	支え愛マップに取り組んだ集落で計画を作成	
						○	継続実施	継続予定		

由良川外流域治水プロジェクト(県中部西エリア)(フォローアップ資料)

R5年度末時点 取組状況

[評価凡例] 前倒し実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:—

Table with columns: 区分, 対策内容, 実施主体, 短期, 工程 (中期), 中長期, 地区等, 評価, R5年度の取組状況, R6年度の取組予定, 概要. Rows include measures like riverbank reinforcement, flood prevention, and disaster response across various municipalities.

流域治水分科会

令和4年2月16日の「鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会」において、これまでの検討に加え、内水被害等の軽減に資する流域治水対策についても議論していくこととしました。令和4年3月に中部管内の各市町ごとに分科会を立ち上げて、市町により抽出された課題への対策について、各分科会で市町・県の関係者が集まって議論を行っているところです。…事務局は、各市町担当課

＜検討経緯＞

- R3. 12末 抽出した課題に対して「課題・対策整理表」による対策(案)の整理・検討を開始。
- R4. 2. 16 減災対策協議会において流域治水に関する分科会設置等を了承。
- R4. 3中旬 関係課による打合せを行い、流域治水の「分科会」を立上げ。
- R4. 4中旬 分科会（第1回）を開催。
- R4. 5～12 分科会（現地検討会等を含む）（第2, 3回）を開催。
- R5. 4～11 分科会（令和5年第1, 2回）を開催。
- R6. 4～12 分科会（令和6年度）を開催予定。（2回程度予定）

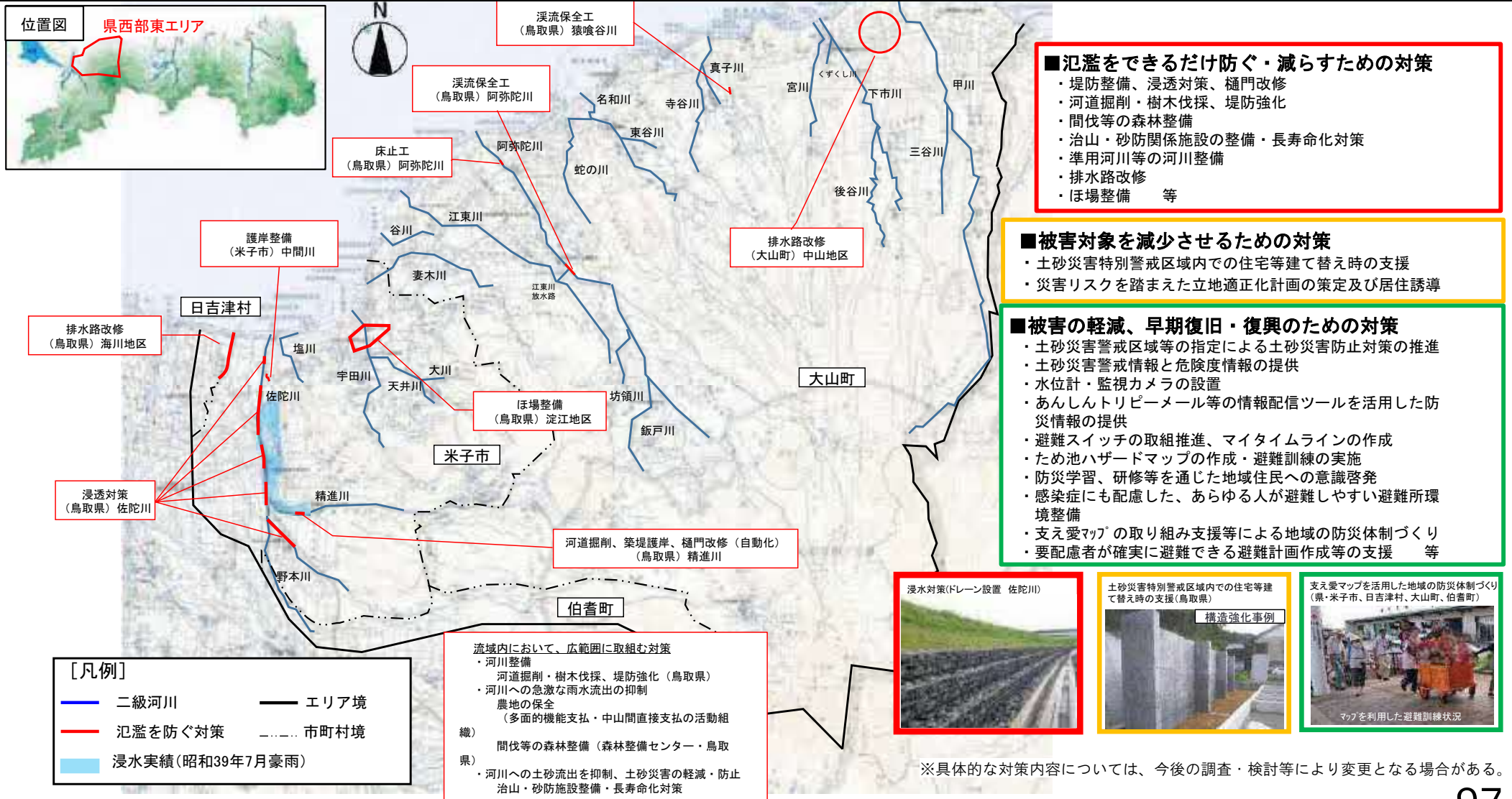
＜今後のスケジュール(令和6年度)＞

- ◇R6.5月頃:協議会において主要箇所の進捗状況を報告
- ◇ ~ 11月:各対策の実施について検討及び分科会構成員間で意見交換
- ◇必要に応じて「流域治水プロジェクト」の改訂案を作成(実施可能なものからプロジェクトに掲載)

※「課題・対策整理表」、「流域治水プロジェクト」は毎年更新

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、佐陀川及び精進川については、観測史上最大降雨が発生した昭和39年7月の豪雨と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、洪水による被害の軽減を図ります。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



- 流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】精進川の河道掘削・護岸整備を行う。
 - 【中期】佐陀川の堤防の浸透対策を行う。
 - 【中長期】河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

佐陀川外流域治水プロジェクト(県西部東エリア)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	(佐陀川)浸透対策	鳥取県	[進捗バー]		
	(精進川)河道掘削・築堤護岸	鳥取県	[進捗バー]		
	(県管理河川)河道掘削・樹木伐採	鳥取県	[進捗バー]		
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県	[進捗バー]		
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[進捗バー]		
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県	[進捗バー]		
	(阿弥陀川)床止工	鳥取県	[進捗バー]		
	(阿弥陀川)溪流保全工	鳥取県	[進捗バー]		
	(猿喰谷川)溪流保全工	鳥取県	[進捗バー]		
	(中間川)護岸整備	米子市	[進捗バー]		
	(中山地区)排水路改修	大山町	[進捗バー]		
	(淀江地区)ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県	[進捗バー]		
	(海川地区)排水路改修	鳥取県	[進捗バー]		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	[進捗バー]		
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市	[進捗バー]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県	[進捗バー]		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	[進捗バー]		
	水位計・監視カメラの設置	鳥取県	[進捗バー]		
	あんしんトリビュート等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	[進捗バー]		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	[進捗バー]		
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市、大山町	[進捗バー]		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	[進捗バー]		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、日吉津村 大山町、伯耆町	[進捗バー]		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、米子市 大山町、伯耆町 日吉津村	[進捗バー]		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、日吉津村 大山町、伯耆町	[進捗バー]		

佐陀川外域流域治水プロジェクト(県西部東エリア)[フォローアップ資料]

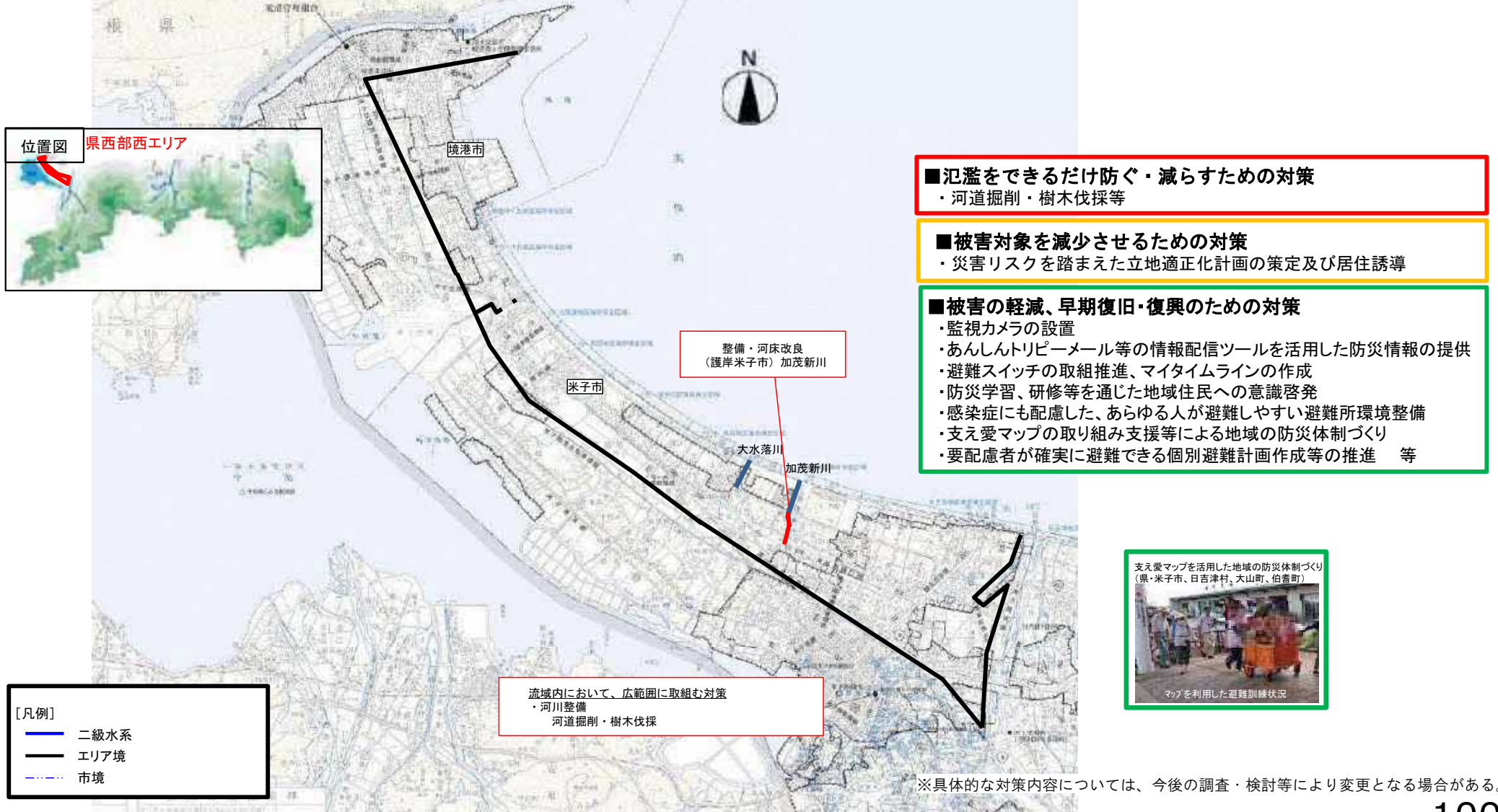
R5年度末時点 取組状況

[評価凡例] 前倒して実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:—

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	(佐陀川)浸透対策	鳥取県					○	浸透対策工事、次工区の詳細設計業務	浸透対策工事	
	(精進川)河道掘削・築堤護岸	鳥取県					○	築堤護岸工、旧橋撤去、橋台工	築堤護岸工、旧橋撤去、橋台工	
	(県管理河川)河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	阿弥陀川外河道掘削・伐採	佐陀川外河道掘削・伐採	
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県				(森林整備センター) (鳥取県)	○	30haの間伐実施	20haの間伐予定	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	豊房地区治山工事	豊房地区治山工事	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県					○	設計業務の実施。長寿命化計画更新業務の実施。	設計業務の実施。長寿命化計画更新業務の実施。	
	(阿弥陀川)床止工	鳥取県					×	(進度調整)	床止工	
	(阿弥陀川)溪流保全工	鳥取県					○	溪流保全工	溪流保全工	
	(猿喰谷川)溪流保全工	鳥取県					○	溪流保全工	溪流保全工	
	(中間川)護岸整備	米子市					○	護岸改修工事の実施(L=33m)	設計業務の実施。護岸改修工事の実施(L=47m)	
	(中山地区)排水路改修	大山町					○	R5年度事業完了	R5に事業完了	
	(淀江地区)ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県				米子市淀江町	○	ほ場整備実施設計、換地原案策定	ほ場整備工事	
(海川地区)排水路改修	鳥取県				日吉津村日吉津	○	排水路改修	排水路改修		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	—	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	建て替え時の支援として市町への補助金を確保	
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市					○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導	R5.5.30追加
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県					○	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	地形改変箇所、防災工事完了箇所等の基礎調査を実施	
土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県					○	気象台と連携し情報発信(情報提供)	気象台と連携し情報発信(情報提供)		
水位計・監視カメラの設置	鳥取県					×	R5設置なし	R6設置予定あり		
	鳥取県					○	ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の運用	ため池遠隔監視装置(カメラ・水位センサー)の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(鳥取県) (米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter等)のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter等)のウェブサイト、SNSを活用し、災害時等における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 日吉津村 大山町 伯耆町				(米子市) (日吉津村) (大山町) (伯耆町)	○	情報ツールを活用した防災情報の提供	引き続き実施	
		鳥取県				(鳥取県)	○	防災無線受信アプリの導入	継続実施	
		米子市				(米子市)	○	SNS等(LINE)により防災情報を配信した。	継続実施	
		鳥取県				(鳥取県)	○	適宜情報配信	適宜情報配信	
		米子市				(米子市)	○	支え愛マップ作成に当たった専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たった専門家派遣支援	
		鳥取県				(鳥取県)	○	避難ノートを活用した啓発の推進	引き続き実施	
		日吉津村				(日吉津村)	△		継続実施	
		大山町				(大山町)	○	自治会等からの要請により防災研修会を実施し、内容を説明した。	自主防災組織の防災研修等において周知、普及する。	
		伯耆町				(伯耆町)	×	なし	なし	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市 大山町				(米子市) (大山町)	○	引き続き支援を実施(R4にため池HM完成済)	引き続き支援	
		鳥取県				(鳥取県)	○	ハザードマップ作成済み。地震津波に関連した避難訓練を実施した。	町が行う各種の訓練等に合わせた実施を検討する。	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県				(鳥取県)	○	防災教育の実施(箕紋屋小、大山小)	防災教育の実施(継続)	
		米子市				(米子市)	○	地域住民等への出前講座等の実施	引き続き実施	
		日吉津村				(日吉津村)	○	風水害を想定した訓練の実施	継続実施	
		大山町				(大山町)	○	自治会等からの要請により、防災研修を実施した。	継続実施	
		伯耆町				(伯耆町)	○	2か所で防災学習を実施	適宜、学習会・研修会の実施	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市				(米子市)	○	資機材整備、マニュアルの改訂による対応の配慮	引き続き実施	
		日吉津村				(日吉津村)	○		継続実施	
		大山町				(大山町)	○	避難所運営マニュアルに沿った環境整備に努めた。	継続実施	
	伯耆町				(伯耆町)	○	備品の整備	必要物品等の購入		
支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県				(鳥取県)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		
	米子市				(米子市)	○	取り組みに対する地域への支援等の実施	引き続き支援		
	日吉津村				(日吉津村)	○	継続実施	継続実施		
	大山町				(大山町)	○	町社会福祉協議会と連携して自治会等でのマップ作成を支援した。	継続実施		
	伯耆町				(伯耆町)	○	社会福祉協議会へ支え愛マップ作成支援	継続実施		
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市				(米子市)	○	部局を横断した計画作成の支援	引き続き支援		
	日吉津村				(日吉津村)	△	継続実施	継続実施		
	大山町				(大山町)	○	自主防災組織が個別避難計画を作成する活動に対し支援した。	継続実施		
	伯耆町				(伯耆町)	○	作成済み(同意有のみ)	継続実施		

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

加茂新川外流域治水プロジェクト(県西部西エリア)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県	→		
	(加茂新川)護岸整備・河床改良	米子市	→		
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県	→		
	あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市、境港市	→		
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市、境港市	→		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市、境港市	→		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、境港市	→		
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市、境港市	→		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、境港市	→		

加茂新川外域流域治水プロジェクト(県西部西エリア)[フォローアップ資料]			R5年度末時点 取組状況			[評価凡例] 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R5年度 対象外:ー)				
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R5年度の取組状況	R6年度の取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県					○	河道掘削・樹木伐採(加茂新川)	河道掘削・樹木伐採(加茂新川)	
	(加茂新川)護岸整備・河床改良	米子市					○	護岸改修工事の実施(L=87m)	護岸改修工事の実施(L=158m)	R5.5.30追加
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市					○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導	R5.5.30追加
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県					○	河川監視カメラの整備(加茂新川)	予定なし(当面の予定箇所は完了)	
	あんしんトリビュール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。	あんしんトリビュール、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のウェブサイト、SNSを活用し、災害時における防災・危機管理情報を迅速かつ的確に提供。気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」を構築。	
			(米子市)	○	情報ツールを活用した防災情報の提供	引き続き実施				
			(境港市)	○	出前講座等での登録普及・啓発及び職員への操作教育	継続実施				
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	支え愛マップ作成に当たっての専門家派遣支援	
			(米子市)	○	避難ノートを活用した啓発の推進	引き続き実施				
			(境港市)	○	出前講座等での普及・啓発	継続実施				
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	×	実績なし ※エリア外ではあり。	小学校等での防災教育の実施	
			(米子市)	○	地域住民等への出前講座等の実施	引き続き実施				
			(境港市)	○	出前講座等での普及・啓発	継続実施				
感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市 境港市				(米子市)	○	資機材整備、マニュアルの改訂による対応の配慮	引き続き実施		
		(境港市)	○	感染症に対応した避難所運営訓練、装備品の点検・補充	継続実施					
支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支え愛マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		
		(米子市)	○	取り組みに対する地域への支援等の実施	引き続き支援					
		(境港市)	○	出前講座等での普及・啓発、社会福祉協議会との連携	継続実施					
要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市 境港市				(米子市)	○	部局を横断した計画作成の支援	引き続き支援		
		(境港市)	○	策定した個別避難計画の点検・更新	継続実施					

・各機関の取組について

○地域の支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上

【R5実績(R6.1月末時点)】新たに34地区が作成(合計975地区)。

<支え愛マップづくりの様子>

○各種ツールによる県民への周知

・あんしんトリピーメール、防災アプリ(あんしんトリピーなび)等の多様なツールを活用し、避難情報や警報など、いち早く情報を届ける。

○広域避難の取組推進

・市町村の行政界を超えた事前の広域避難について市町村と検討を開始。

○災害ケースマネジメントの推進

- ・鳥取県中部地震を契機に、被災者一人ひとりに寄り添った生活復興支援を平成30年4月から開始。
- ・令和4年10月に県、市町村、専門士業団体、県社協等で構成する「災害ケースマネジメント協議会」を設立し、関係機関が連携して災害ケースマネジメントに取り組む体制を構築。

<災害ケースマネジメント：訪問調査の様子>

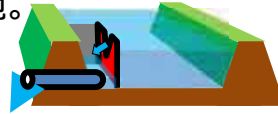


田んぼダムモデルほ場実証研修

田んぼダムの周知や地域全体の取組推進を図るため、その効果を見える化したモデルほ場で実証研修を行うとともに、不安視される水稻への生育影響調査を併せて実施。

研修会の開催

- 研修回数：8回（R4～R5実績 各年4回）
- 参加者：392名（農業者215名、地域住民177名）
 ※参加した98%が田んぼダムの効果や実施方法等を理解された。
 ※モデルほ場はR5.12に撤去



【研修会の様子】



【堰板作成の実演】

【模型による流域治水の説明】

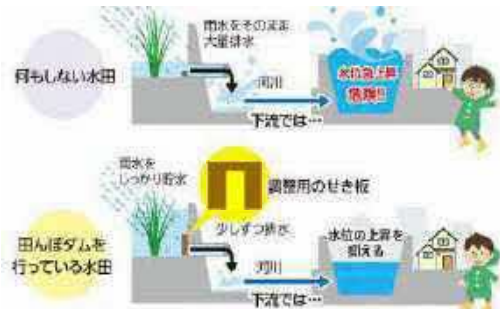


貯留量 **多**

貯留量 **少**

排水量 **少**

排水量 **多**



水稻の生育影響調査

- 通常の水管理を行う1区画と田んぼダムを想定した4区画を設定。
- 田んぼダム想定区画では豪雨（数回湛水。20cm・2日間）を再現。
- 収穫後、収量・品質を比較。
 → **（結果）生育収量への影響は確認されない。**
 （R4:きぬむすめ R5:コシヒカリで実証）



【通常区画】

【田んぼダム区画】

作付品種	R4年度（きぬむすめ）	R5年度（コシヒカリ）
収量	登熟歩合、千粒重が高く、収量はほぼ同等となり湛水処理が収量を減少させるほどの影響は見られなかった。	収量は同等であり、本実証の湛水処理が収量を減少させるまでの影響は見られなかった。
品質	食味を左右するタンパク質含量が同等で、食味値等ほぼ同等であった。湛水処理が食味関連形質に及ぼす影響は見られなかった。	食味を左右するタンパク質含量がほぼ同等で、食味値も同等であった。深水湛水処理が、外観品質や食味関連形質に及ぼす影響は見られなかった。

第2表 代表株調査による計算収量

区画	稈数/㎡	登熟歩合%	千粒重	計算収量g/㎡	同左比
通常⑦	36,872	72.6	21.89	586	100
ダム⑧⑨	34,373	76.7	22.13	584	100
ダム⑩⑪	30,856	81.7	23.19	585	100

第3表 食味関連形質

区番	食味値Point	アミロース%	タンパク質%	水分%	脂肪酸度mg/100g
通常⑦	80	18.6	7.4	14.7	14.2
ダム⑧⑨	81	18.5	7.4	15.0	14.5
ダム⑩⑪	81	18.5	7.4	15.3	13.2

※登熟歩合：稲の中に占める正常な穂の割合
 ※千粒重：穀類や豆類の種実1000粒の重量

田んぼダム取組状況

R3年度		R4年度		R5年度（見込み）	
地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
10	60	17	147	21	250

- ① ハード整備 … 力強く推進していく。（防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策）
 主な予定 … 塩見川（駅前工区および箭溪川放水路）、砂田川（鉄道橋拡幅）、
 日置川（堤防整備）、蒲生川（堤防整備）、浜村川・勝見川（放水路）
 八東川（堤防整備）、私都川（JR鉄道橋架替促進）
私都川（延命寺工区、麻生工区での改良復旧工事） など
- ② 排水対策 … 今年度排水ポンプ車を1台追加配備し、計3台で緊急時に備える。
 樋門の省力化を推進していく。（楽に開閉でき、操作員の負担を軽減する）※下記
- ③ 流域治水 … 大路川流域において、雨水貯留対策について住民との合意形成を図っていく。
 県・市が連携して効果的な内水対策を推進していく。【本協議会にて分科会を設立】
- ④ 河川情報 … デジタル技術を活用した新たな発信手段の導入を検討していく。
 （早く、確実に、わかりやすい発信）
- ⑤ 啓発活動 … 防災教育や出前説明会を継続的に取り組んでいく。
 （要配慮者施設についても要請があれば実施する）

樋門操作の省力化（手動⇒電動化）

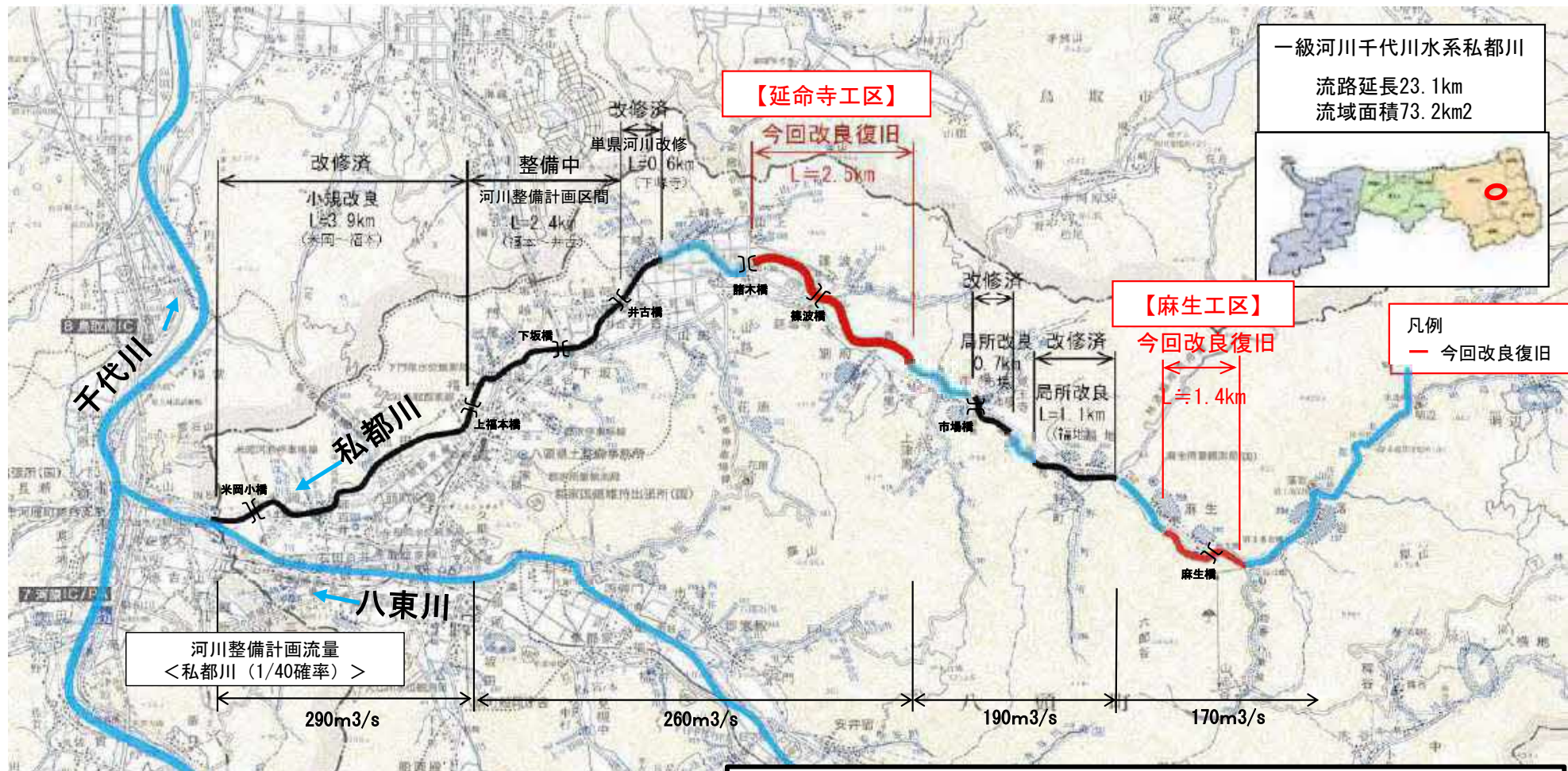
- 地域住民などに市町を經由して操作を委託している手動の樋門について、操作員の負担軽減かつ開閉迅速化による省力化推進のため、電動化に着手。
- 令和5年2月14日に、県内1号機（大路川：鳥取市雲山）の設置を完了。
- 令和7年度までに全県で160基（予定）を設置していく。



- 既設ハンドルを取り外し機器を固定
- 電動ドリルで昇降作業可能

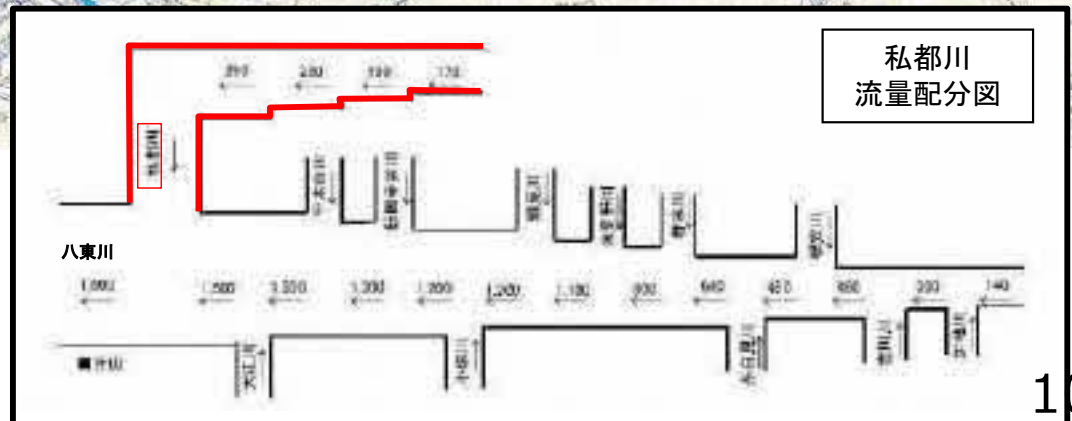
私都川(延命寺工区、麻生工区)での改良復旧工事

➤ 私都川では、これまで改良事業により河川整備を実施しており、上福本橋から井古橋の間では整備計画に基づく改良事業を実施中です。



令和5年8月の台風第7号により、私都川（延命寺工区及び麻生工区）では、溢水による家屋や農地等の浸水被害や護岸崩壊等の甚大な被害が発生した。

災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、災害関連事業により、堤防嵩上げや、河道掘削等を行うことで、流下能力を向上させ、再度災害防止を図るものである。



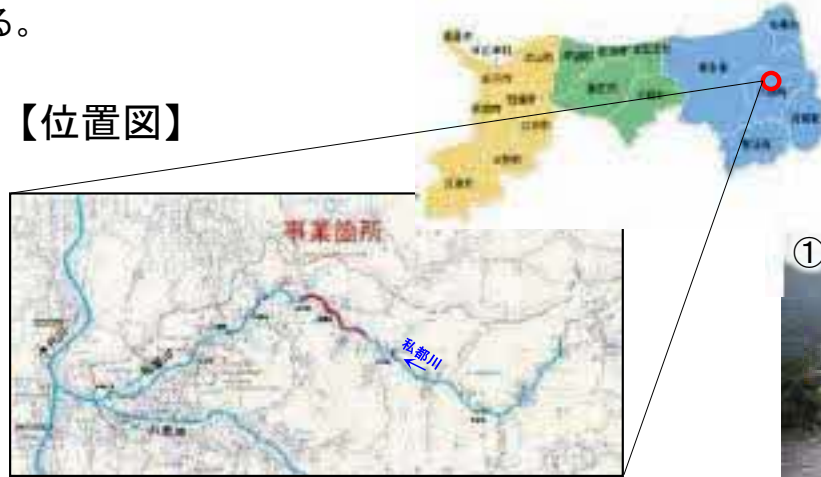
【概要】

令和5年8月の台風第7号により、私都川（延命寺）では、溢水による家屋や農地等の浸水被害や護岸崩壊等の甚大な被害が発生した。災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、災害関連事業により、堤防嵩上げや、河道掘削等を行うことで、流下能力を向上させ、再度災害防止を図るものである。

【事業内容】

事業主体：鳥取県
 河川名：一級河川 千代川水系 私都川
せんだいがわ きさいちがわ
や ず ぐ ん や ず ち ょ う さ さ な み べ ぶ
 事業箇所：八頭郡八頭町篠波 ～ 別府
 事業延長：約2.5km
 事業期間：令和5年度～令和7年度(予定)
 事業費：約11億円(うち改良費5億円)
 事業概要：護岸工、堤防嵩上げ等

【位置図】



【被災状況写真】



▲農地浸水の状況

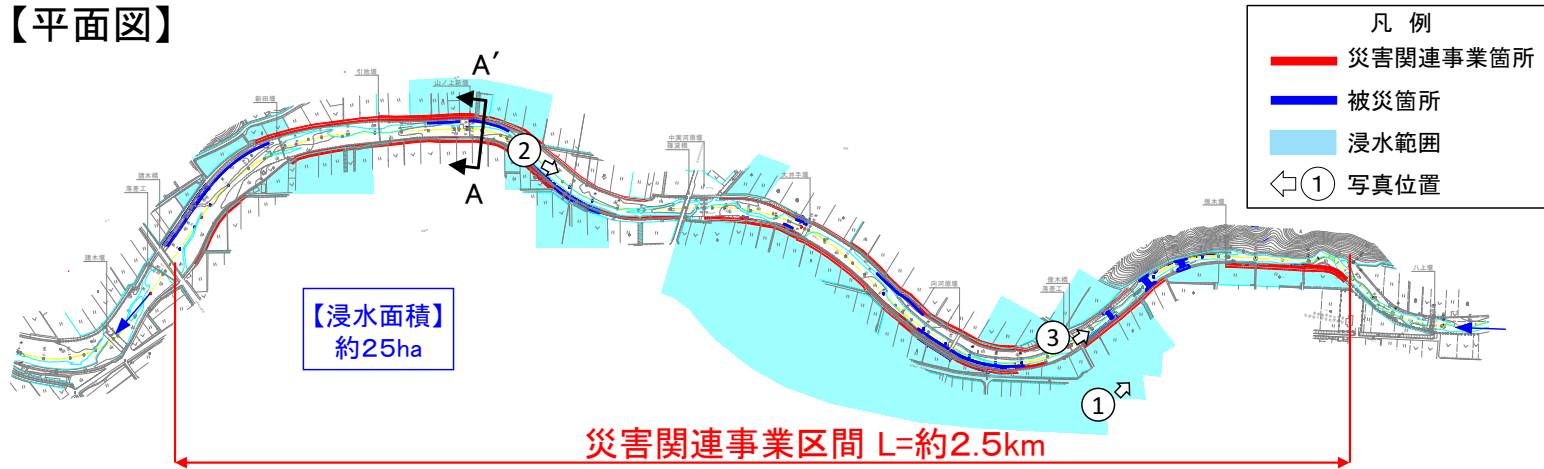


▲護岸崩壊の状況

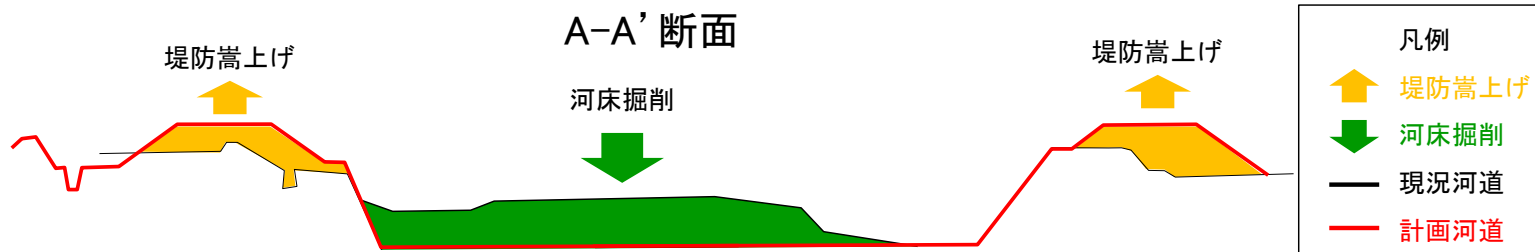


▲護岸崩壊の状況

【平面図】



【横断図(イメージ)】



【概要】

令和5年8月の台風第7号により、私都川（麻生）では、溢水による家屋や農地等の浸水被害や護岸崩壊等の甚大な被害が発生した。災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、災害関連事業により、堤防嵩上げや、河道掘削等を行うことで、流下能力を向上させ、再度災害防止を図るものである。

【事業内容】

- 事業主体：鳥取県
- 河川名：一級河川 千代川水系 私都川
- 事業箇所：八頭郡八頭町麻生
- 事業延長：約1.3km
- 事業期間：令和5年度～令和7年度(予定)
- 事業費：約4.6億円(うち改良費1.5億円)
- 事業概要：護岸工、堤防嵩上げ等

【位置図】



【被災状況写真】



▲護岸崩壊の状況



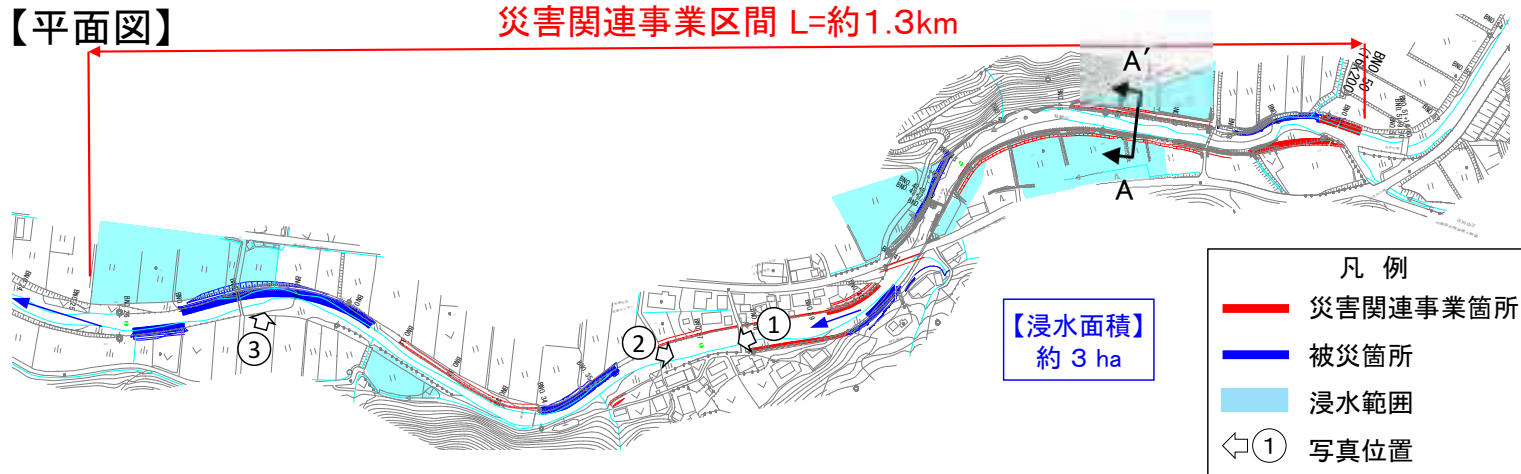
▲護岸崩壊の状況



▲護岸崩壊の状況

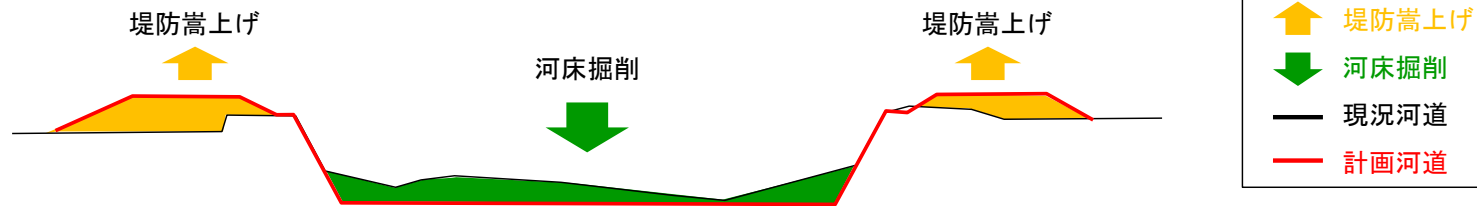
【平面図】

災害関連事業区間 L=約1.3km

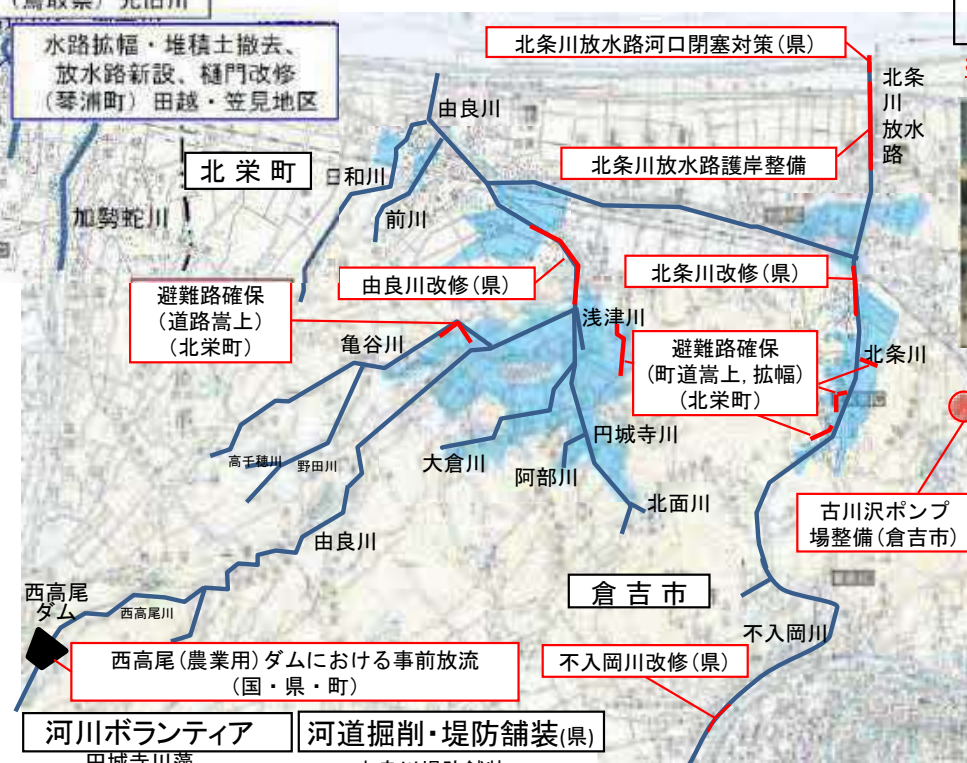


【横断図(イメージ)】

A-A' 断面



由良川水系(由良川・北条川)における流域治水の取組



北条川放水路河口対策(県町・住民)

砂州フラッシュ・効率的な開削手法・人工リーフ



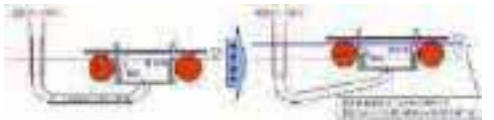
北条川放水路整備(県)

人家連担部護岸H30完成⇒下流護岸重点整備

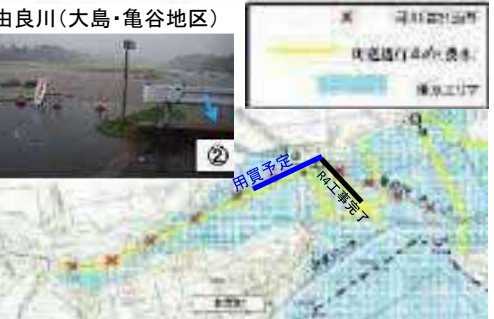


由良川塩水遡上対策(県市町・農業者)

河川改修と気候変動による潮位上昇に対応した塩水遡上対策 ⇒ 農業用ポンプ場表層取水 (R3-4実証実験, R5~設計)



避難路確保[町道嵩上げ](北栄町)



北条川(米里地区)



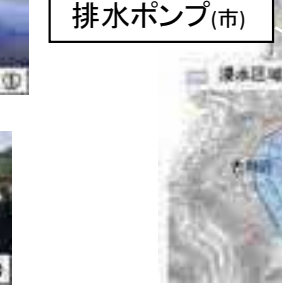
河川ボランティア



河道掘削・堤防舗装(県)



古川沢排水ポンプ(市)



ポンプ出力: 30kw × 2台
吐出力: 50m³/min

北条川流域浸水対策(県町・住民)

リアルタイム雨量・水位による洪水予測システム開発(R3~試行)



北条川AI技術による河川管理高度化(建技・県)



米子県土の取組 「的確な避難行動のための取組」

○小中学校などと連携した防災教育

防災意識向上への「防災教育」、河川等の役割を理解してもらう「河川(砂防)学習会」を実施

令和5年度の実施状況

【防災教育(洪水・土砂災害・ドローン)】 6/14 米子市立車尾小学校(4年生) 9/9 米子市立就将小学校(6年生)
11/22 米子市立箕蚊屋小学校(5年生) 11/28 大山町立大山小学校(5年生)

令和6年度の予定

防災教育への専門家派遣事業、要請等により継続実施

車尾小学校



就将小学校



箕蚊屋小学校



土砂災害メカニズム実験



ドローン飛行実演



大山小学校



○水防関係者間での連携、協力に関する検討

出水対応に備えて「排水ポンプ車」講習会の実施

令和5年度

日 時： 令和5年6月6日(火)

場 所： 法勝寺川(南部町境)、小松谷川(米子市下安曇)、大川(米子市福市)、
水貫川(米子市皆生新田)

参加者： 米子県土整備局および南部町の職員 約20名

講習概要： 現地確認及び排水ポンプ車基本操作、排水ホースの接続訓練等。駐車位置や留意事項も確認。 ※ 南部町境排水ポンプ場では南部町職員も参加し合同で訓練を実施

★令和6年度についても出水期前に継続実施予定



講師による説明状況



排水ホースの接続訓練

日野県土の取組 「防災学習会・出前講座」の実施

日野振興センターでは、地域の皆さんの防災意識を高めていただくため、「ひの防災レンジャー」を組織して、地域の方々や小学校を対象とした防災学習会、出前講座を行っています。

令和元年度の実施状況

- 1/7 あかねの郷出前講座(10名)
- 1/18 津地地区防災座談会(15名)

令和2年度の実施状況

- 6/15 江府中学校(40名)
- 9/4 霞地区自治会(30名)
- 10/5 江府町こどもサロン(24名)
- 10/17 まなびや -ひの谷学舎-(15名)

令和3年度の実施状況

コロナ禍により開催中止

令和4年度の実施状況

- 10/31 江府町こどもサロン(26名)
- 2/16 日南小学校(22名)

令和5年度の実施状況

- 6月 相手側の都合により中止
- 3月 要援護者施設の避難対策
担当者を訪問(情報交換)



R4.10.31 江府町こどもサロン

江府町こどもサロン参加者
(小学5年生)からの感想

・土砂くずれや地すべりや洪水やいろんな防災の言葉や意味が知れてよかったです。

・ハザードマップやひなん場所のことを教えてもらって、よくわかってよかったです。



R5.2.16 日南小学校



R6.3 要配慮者利用施設を訪問

令和5年度は要配慮者利用施設
「あいご」を訪問

- ・避難計画の担当者と意見を交換
- ・避難訓練の状況を聞き取り
実際に係る時間や人員体制
河川情報の確認方法の実情
- ・浸水想定図の見方や水防情報の
解説
- ・その他、防災対応時のお役立ち
情報の提供

県河川課の取組 樋門操作の省力化推進中！

県管理の手動式樋門(199基/全238基)のうち、氾濫規模等から優先順位が高い樋門160基について、「[操作員の負担軽減](#)」、「[開閉の迅速化](#)」による省力化を目的として、『[樋門の電動化](#)』を推進しています。

【事業背景】

- ・樋門は**地域住民**(市町村委託)が**操作**している。
- ・開閉作業は1基10分も要する**重労働**である。
- ・**操作員の高齢化**が進む中、負担軽減の要望が上がっている。
- ・**ボタン操作**による電動化は**多額の費用と時間を要する**。

⇒大規模な施設改修は時間もお金もかかるため、
手動樋門を電動ドリルで開閉できるように改造し、整備する。

【お知らせ】

※河川課HPで、
導入効果、操作方法等
を公開しています。→



動画①
(効果検証)



動画②
(ドリル取扱)



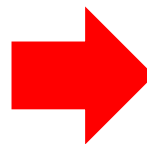
動画③
(樋門操作)



【効果事例】 ⇒252秒の時間短縮(労力も軽減！)



5~10分近くの全身運動🌀



指先一つで上げ下げ可能。しかもあっという間！



電動ドリルでの
作業状況

倉吉市の浸水対策の取組

《福庭東地区の浸水対策について》

位置図



過去の浸水状況

① R5.8 台風7号



②-2 R3.7.7 豪雨



④ H25.9.4 台風15号



②-1 R3.7.7 豪雨



③ H30.9.29 台風24号

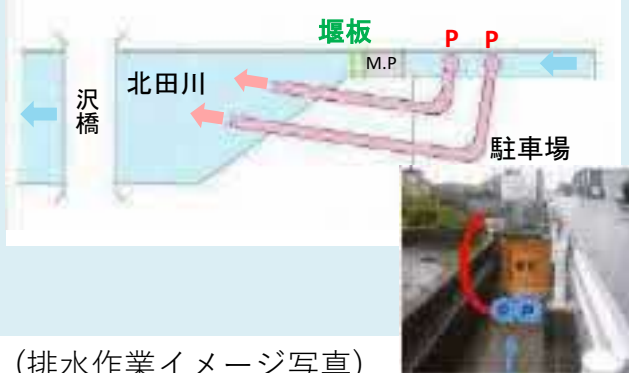


⑤ H23.9.3 台風12号



R6年度の取組

(排水作業イメージ図)



(排水作業イメージ写真)

水中ポンプを使用

可搬式ポンプを使用



(取組の説明)

- ・出水期前に現地へ排水作業用の水中ポンプを事前搬入しておき、豪雨時の排水作業により、浸水被害軽減効果が得られるか試行する。

(倉吉市建設協議会へポンプ操作要請中)

- ・本試行の実証効果を検証し、常設排水ポンプ施設あるいは排水ポンプ車の設置など検討していく。

その他の取組

①樋門管理

- ・国及び県からの委託樋門等の点検及び豪雨時の操作
- ・台風等の大雨が予想される場合は事前に土地改良区等へ用水樋門の管理の要請

②排水ポンプ車の導入

- ・R4年度末に本市で購入し初配備
 - ・R5年8月台風7号の際、不入岡排水樋門(西福守町地内)にて初稼働
- ⇒倉吉河川国道事務所と連携して浸水被害を軽減できた

③日々の維持

- ・排水施設の定期点検による動作確認

④上下水道局との連携

- ・各排水機場
 - 上井地区 : 上井雨水排水ポンプ場
 - 成徳地区 : 明治町二丁目雨水ポンプ施設
 - 玉川上流排水樋門可搬式ポンプ
 - 和田地区 : 和田排水機場
 - 古川沢地区 : 古川沢地区排水ポンプ施設
 - ・排水ポンプ車の追加配備
- R6年度予算にて市2台目を購入予定

倉吉市排水ポンプ車
排水能力：30m³/分



日本海新聞記事
【令和5年9月29日掲載】

